

平成 28 年度

坂井市教育委員会の事務の管理及び  
執行状況の点検・評価報告書

坂井市教育委員会

— 目 次 —

I	はじめに	1
II	点検・評価について	2
III	平成28年度坂井市教育委員会の活動状況	
1	教育委員会の会議開催等の状況	3
2	教育委員の活動状況	6
3	委員会、審議会等の審議状況	12
4	教育委員会関係の許認可の状況	15
IV	平成28年度の教育委員会関係事業の取組実績	
	○ 教育総務課	16
	○ 学校教育課	20
	○ 生涯学習スポーツ課	33
	○ 国体推進課	45
	○ 文化課	45
	○ 市立図書館	54
V	有識者からの意見	56

## I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月から、毎年、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

### 【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

本報告書「平成28年度坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」（以下、「点検・評価報告書」という。）は、地教行法の規定に基づき、より効果的な教育行政の推進と市民の皆様に対する説明責任を果たすため、市教育委員会が平成28年度の主要施策の取組結果とともに、教育委員会の各種活動状況について点検・評価をまとめたものです。

## II 点検・評価について

### 1 対象期間

平成28年度（平成28年4月～平成29年3月）

### 2 点検・評価方法

#### (1) 点検・評価報告書の作成

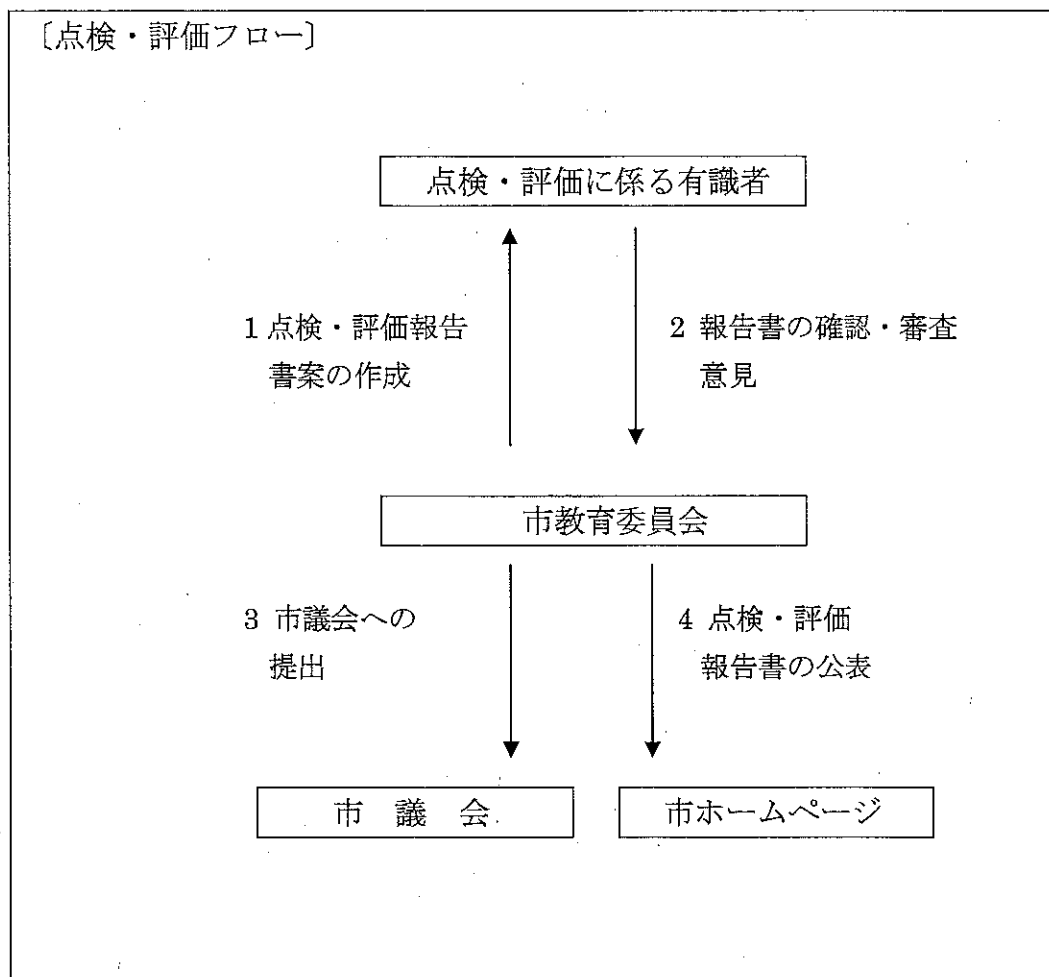
- ・ 教育委員会において点検・評価報告書案を作成

#### (2) 点検・評価報告書の確認、審査

- ・ 有識者による点検・評価報告書案の内容の確認および審査

#### (3) 点検・評価結果の公表

- ・ 点検・評価報告書を市議会に提出するとともに、市のホームページにおいて公表



### Ⅲ 平成28年度 坂井市教育委員会の活動状況

#### 1 教育委員会の会議開催等の状況

##### (1) 坂井市教育委員会委員(平成27年5月11日現在)

	氏名	職業
委員長	三宅 小百合	無職(保護者委員)
委員(委員長職務代理者)	若松 静榮	茶道教授
委員	喜多 正之	農業
委員	牧田 靖夫	会社役員
委員(教育長)	川元 利夫	

##### (2) 坂井市教育委員会委員(平成28年5月11日現在)

	氏名	職業
委員長	三宅 小百合	無職(保護者委員)
委員(委員長職務代理者)	若松 静榮	茶道教授
委員	牧田 靖夫	会社役員
委員	田中 典夫	会社役員
委員(教育長)	川元 利夫	

##### (3) 教育委員会会議の開催状況

- ・ 開催回数 13回
  - ・ 附議事項 48件
- 4月定例教育委員会〔平成28年4月26日(火)〕
- ・ 坂井市教育委員会文化課所管補助金等交付要綱の一部改正について
  - ・ 坂井市一筆啓上日本一短い手紙の館運営審議会委員の承認について
  - ・ 坂井市立図書館協議会委員の承認について
  - ・ 坂井市学校事務共同実施組織責任者の指定について
  - ・ 就学指定校の変更許可について
- 5月臨時教育委員会〔平成28年5月11日(水)〕
- ・ 坂井市教育委員会委員長の選出について
  - ・ 坂井市教育委員会委員長職務代理者の選出について
  - ・ 坂井市教育委員会教育委員の席次の決定について

- 5月定例教育委員会〔平成28年5月23日(月)〕
  - 坂井市立幼稚園保育料条例施行規則の一部改正について
  - 坂井市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正について
  - 坂井市社会教育委員の承認について
  - 坂井市青少年育成推進員の承認について
  - 坂井市青少年愛護センター運営委員の承認について
  - 坂井市青少年愛護センター補導員の承認について
  - 坂井市一筆啓上日本一短い手紙の館運営審議会委員の追加承認について
  - 就学指定校の変更許可について
  
- 6月定例教育委員会〔平成28年6月27日(月)〕
  - 坂井市教育委員会教育総務課所管補助金等交付要綱の一部改正について
  - 坂井市教育委員会学校教育課所管補助金等交付要綱の一部改正について
  - 就学指定校の変更許可について
  
- 7月定例教育委員会〔平成28年7月28日(木)〕
  - 就学指定校の変更許可について
  
- 8月定例教育委員会〔平成28年8月25日(木)〕
  - 坂井市竹田体育館等使用条例施行規則の廃止について
  - 坂井市研修センター条例施行規則の廃止について
  - 坂井市学校給食アレルギー対応食提供事業実施要綱の一部改正について
  - 坂井市就学援助費支給要綱の一部改正について
  - 坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱の一部改正について
  - 就学指定校の変更許可について
  
- 9月定例教育委員会〔平成28年9月27日(火)〕
  - 就学指定校の変更許可について
  
- 10月定例教育委員会〔平成28年10月18日(火)〕
  - 就学指定校の変更許可について
  
- 11月定例教育委員会〔平成28年11月21日(月)〕
  - 就学指定校の変更許可について

- 12月定例教育委員会〔平成28年12月19日(月)〕
  - 坂井市教育委員会学校教育課所管補助金等交付要綱の一部改正について
  - 坂井市スクールバス運行管理要綱の制定について
  - 坂井市通学バス運行支援事業費補助金事務取扱要綱の制定について
  - 坂井市通学支援事業費補助金事務取扱要領の一部改正について
  - 就学指定校の変更許可について
  
- 1月定例教育委員会〔平成29年1月19日(木)〕
  - 坂井市一筆啓上日本一短い手紙の館条例施行規則の一部改正について
  - 坂井市文化の森・YURI文化情報交流館条例施行規則の一部改正について
  - 就学指定校の変更許可について
  
- 2月定例教育委員会〔平成29年2月16日(木)〕
  - 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について
  - 坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱の一部改正について
  - 就学指定校の変更許可について
  
- 3月定例教育委員会〔平成29年3月22日(水)〕
  - 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について
  - 坂井市奨学育英資金貸付の承認について
  - 坂井市立幼稚園保育料条例施行規則の廃止について
  - 坂井市スクールバス運行管理要綱の一部改正について
  - 坂井市教育委員会学校教育課所管補助金等交付要綱の一部改正について
  - 三国湊町家館条例施行規則の一部改正について
  - 坂井市全国文化芸術大会出場激励金支給要綱の一部改正について
  - 就学指定校の変更許可について

## 2 教育委員の活動状況

時 期	委 員 名	活 動 内 容	
平成28年4月1日	川元	教育委員会辞令交付式	1
4月2日	川元	坂井地区学校運営研究大会	2
	川元	丸岡桜まつりセレモニー	3
4月4日	三宅、若松、喜寿、牧田、川元	教職員着任式	4
4月6日	三宅、若松、喜寿、牧田、川元	各中学校入学式	5
4月11日	三宅、若松、喜寿、牧田、川元	坂井市教育研究会総会	6
4月16日	三宅	坂井市文化協会総会	7
4月21日～22日	川元	東海北陸都市教育長協議会定期総会	8
4月25日	川元	福井しあわせ元気国体坂井市実行委員会第1回常任委員会	9
4月29日	川元	坂井市スポーツ少年団入団式	10
4月30日	川元	古城カップサッカー大会	11
5月9日	川元	臨時議会	12
5月11日	田中、川元	教育委員辞令交付式（田中委員）	13
	三宅、若松、牧田、田中、川元	第1回総合教育会議	14
5月12日	若松、田中、川元	英国派遣団報告会、解団式	15
5月14日	川元	坂井市成人大学開講式	16
	三宅、若松、牧田、田中、川元	坂井市PTA連合会総会	17
5月16日	三宅、若松、牧田、田中、川元	坂井地区合同教育委員会	18
5月18日		中高連絡協議会総会	19
5月19日～20日	川元	全国都市教育長協議会総会・研究大会	20
5月21日	三宅、若松、牧田、田中、川元	高棟小・明章小・春江西小・大石小・東十郷小運動会	21
5月22日	三宅、若松、田中、川元	坂井市制施行10周年記念式典	22
	田中、川元	鳴鹿地区体育祭	23
5月24日	川元	坂井市文化未来会議	24
5月26日	三宅、若松、牧田、田中、川元	福井県市町教育委員会連絡協議会総会・研修会	25
5月27日	三宅、川元	青少年育成坂井市民会議総会	26
5月28日	若松、牧田、田中、川元	平章小、春江西小、大関小、兵庫小、木部小運動会	27
5月29日	若松、牧田、田中、川元	第23回「一筆啓上賞」顕彰式	28
5月31日～6月2日	川元	B&G海洋センター会議	29
6月3日	若松	福井県市町女性教育委員の会総会、研修会	30
6月4日	川元	第22回日本少年野球越前東尋坊大会	31
6月5日	三宅、牧田、田中、川元	第11回坂井市古城マラソン	32
	三宅、田中、川元	第5回坂井市郷土芸能祭	33
6月6日	牧田、川元	文化芸術による子供の育成事業	34
6月7日	川元	青少年愛護センター一般補導員委嘱式	35
6月8日	三宅、若松、牧田、田中、川元	坂井市総合美術展開場セレモニー	36
6月10日	川元	6月定例会本会議	37
6月15日	川元	社会教育委員の会	38
6月18日	川元	福井県幼・小・中PTA活動坂井地区研修会	39
6月20日	川元	6月定例会本会議	40
6月21日	川元	6月定例会本会議	41
6月23日	牧田	坂井地区中学校音楽会	42
6月24日	川元	6月定例会（教育民生常任委員会）	43



時 期	委 員 名	活 動 内 容	
6月25日	川元	第10回誠杯少年サッカー大会	44
	川元	わんぱく少年団 結団式	45
6月28日	川元	青少年愛護センター運営委員会	46
6月30日	川元	6月定例会本会議	47
7月1日	三宅、若松、牧田、田中、川元	英国招へい団市長表敬訪問	48
7月2日～3日	三宅、若松、田中、川元	第5回坂井市子ども文化祭	49
7月8日	三宅、若松、川元	市民文化祭実行委員会	50
7月13日	川元	坂井市立図書館協議会	51
7月21日	川元	坂井地区小学校教育課程研究集会	52
7月31日	川元	丸岡南中夕涼み会	53
8月1日	川元	坂井市教育研究会全体研修会	54
8月3日	川元	坂井延岡ジュニア交流市長表敬訪問・対面式	55
	三宅、若松、田中、川元	国体実行委員会総会	56
8月6日	川元	三国町小学生野球大会	57
	川元	三国町小学生女子親善バレーボール大会	58
8月7日	若松、川元	さかい夏まつり	59
8月20日	三宅、川元	高校生現代アートビエンナーレ表彰式	60
	若松、田中	くちなし忌	61
8月23日	川元	第2回教育振興研究会代表者会	62
8月28日	川元	三国中学校サマーコンサート	63
8月31日	三宅、若松	福井県女性教育委員の会研修会	64
9月3日	三宅、若松、川元	市民スポーツ祭開会式	65
9月7日	三宅、若松、牧田、川元	三国中、春江中、坂井中体育祭	66
9月9日	川元	9月定例会本会議	67
	三宅、田中、川元	丸岡中体育祭(8日から順延)、丸岡南中体育祭	68
9月10日	三宅、田中、川元	小学校運動会(三国北、雄島、三国西、長畝)	69
9月11日	牧田、田中、川元	NHK特別巡回ラジオ体操	70
9月13日	川元	市子ども会育成連絡協議会壁新聞コンクール審査	71
9月15日	三宅、川元	三国中文化祭	72
9月16日	三宅、田中、川元	丸岡中文化祭	73
9月17日	三宅、牧田、川元	小学校運動会(三国南、春江東)	74
	若松、牧田、川元	中学校文化祭(春江中、坂井中)	75
	三宅、川元	表児の米	76
9月18日	田中、川元	丸岡南中文化祭	77
9月20日	川元	9月定例会本会議	78
9月21日	川元	9月定例会本会議	79
9月24日	田中、川元	磯部小運動会	80
	三宅、田中、川元	こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展表彰式	81
9月26日	川元	9月定例会(教育民生常任委員会)	82
9月27日	牧田、川元	坂井市国際交流英国派遣団団員オリエンテーション、第1回全体研修	83
9月30日	川元	9月定例会本会議	84
10月1日～10月2日	川元	さかい九頭竜音楽コンクール表彰式	85
10月2日～10月4日	川元	岩手国体視察	86
10月2日	三宅	丸岡スポレク祭	87

時 期	委 員 名	活 動 内 容	
10月5日	川元	福井県公民館大会	88
10月9日	川元	丸岡古城まつりセレモニー	89
10月13日	川元	文化未来会議視察（舞鶴市、小浜市）	90
10月14日	川元	臨時議会	91
10月18日	三宅、若松、牧田、田中、川元	坂井市小学校連合運動会	92
10月22日	田中	福井県児童科学館リニューアル式典	93
10月27日	川元	子育て講演会	94
10月28日	川元	福井県中学校道徳教育研究大会坂井大会	95
10月29日	田中	丸岡城天守を国宝にする市民の会活動報告評定	96
10月29日～30日 11月3日	川元	坂井市民文化祭（三国）	97
10月30日	川元	陸上ドリームフェスティバル	98
10月30日	三宅、若松、牧田、田中、川元	坂井市民文化祭総合開会式	99
11月5日～6日	若松、田中	坂井市民文化祭（丸岡・春江・坂井）	100
11月5日	牧田	英国派遣団第2回全体研修	101
11月13日	三宅、川元	あさのあっこトークライブ	102
11月14日	三宅、若松、牧田、田中、川元	英国派遣団結団式	103
11月16日	川元	赤ちゃん抱っこ体験（丸岡南中）	104
11月18日～19日	川元	福井教育フォーラム	105
11月19日	三宅、若松、川元	坂井市制10周年記念協働のまちづくり・男女共同参画推進大会	106
	三宅、若松、田中、川元	まるおか子供歌舞伎	107
11月20日	川元	丸岡町ジュニア陸上競技記録会	108
11月22日	三宅、若松、牧田、田中、川元	坂井地区合同教育委員会	109
	川元	不登校対策推進事業講演会	110
11月26日	三宅、田中、川元	坂井市青少年健全育成推進大会	111
	三宅、若松、牧田、田中、川元	坂井市PTA連合会市長・教育委員と語る会	112
11月28日	三宅、若松	福井県市町女性教育委員の会研修会	113
11月30日	川元	福井県社会教育委員連絡協議会リーダー研修会	114
12月2日	川元	福井大学附属小学校教育研究集会	115
	川元	12月定例会本会議	116
12月8日	三宅、若松、田中、川元	ふるさとづくり大会、生涯学習講演会	117
12月11日	川元	坂井地区ディスクドッチ交歓大会	118
12月12日	川元	12月定例会本会議	119
12月13日	川元	12月定例会本会議	120
12月14日	川元	12月定例会（教育民生常任委員会）	121
12月22日	川元	12月定例会本会議	122
平成29年1月6日	川元	坂井地区教育振興研究会代表者会	123
1月8日	三宅、若松、牧田、田中、川元	坂井市成人式	124
1月15日	川元	坂井市小学生親善かるた大会	125
	川元	坂井地区初区長会	126
1月19日	川元	丸岡地区初区長会	127
1月21日	川元	文化財防火訓練（三國神社）	128
	三宅、川元	体育協会新春のつどい	129
1月23日～24日	三宅、若松、牧田、田中、川元	教育委員県外研修（東京都品川区）	130
1月26日	三宅、川元	一筆啓上最終選考会	131
1月27日	三宅、若松、牧田、田中、川元	一筆啓上入賞者発表会	132

時 期	委 員 名	活 動 内 容	
1月29日	三宅、若松、田中、川元	坂井市文化協会講演会	133
1月30日	川元	福井県文化協会新春の集い	134
1月31日	川元	春江地区初区長会	135
2月1日	川元	三国地区初区長会	136
2月4日～5日	牧田	英国派遣団宿泊研修	137
2月5日	川元	三国町小学生親善卓球大会	138
	川元	坂井市民将棋大会	139
	三宅、牧田、田中、川元	国体カウントダウンボード除幕式	140
2月9日	三宅、牧田、田中、川元	坂井市イクボス宣言	141
2月12日	川元	坂井地区キャリア教育推進フォーラム	142
2月14日	牧田	英国派遣団保護者説明会	143
2月18日	川元	坂井市成人大学閉講式	144
2月24日	牧田	英国派遣全体研修	145
2月25日	三宅、若松、牧田、田中、川元	春江中コミュニティセンター竣工式	146
2月27日	川元	坂井市文化未来会議	147
3月2日	川元	坂井高等学校卒業証書授与式	148
	若松	丸岡高等学校卒業証書授与式	149
	三宅	三国高等学校卒業証書授与式	150
3月3日	田中	丸岡高等学校城東分校卒業証書授与式	151
	牧田	英国派遣団全体研修	152
3月4日	三宅、若松、牧田、川元	梨一賞受賞式	153
3月6日	川元	3月定例会本会議	154
3月7日	川元	3月定例会本会議	155
3月8日	三宅、若松、牧田、田中、川元	英国派遣事業壮行式	156
	川元	3月定例会本会議	157
3月10日	三宅、若松、田中、川元	各中学校卒業証書授与式	158
3月11日	三宅、若松、田中、川元	坂井市教育委員会表彰	159
3月14日	川元	3月定例会（教育民生常任委員会）	160
3月16日	三宅、若松、田中、川元	各小学校卒業証書授与式	161
3月17日	三宅、若松、田中、川元	各小学校卒業証書授与式	162
	三宅、若松、牧田、田中、川元	英国派遣事業 帰国報告	163
3月23日	川元	3月定例会本会議	164
3月24日	牧田、川元	英国派遣団帰国市長報告	165
3月31日	若松、牧田、田中、川元	教職員離任式	166

※教育委員会会議は、前項に開催状況の記載があるため本表からは除いてあります。

※指導主事訪問および全国大会出場激励会は、別途一覧表があるため、本表からは除いてあります。

全国大会激励会

時 期	委 員 名	活 動 内 容	
平成28年8月5日	川元	全国大会出場激励会 (バレー、ビーチバレー、小学生柔道、小学生陸上)	1
8月8日	川元	全国大会出場激励会 (全中)	2
9月16日	川元	国体出場者激励会	3
10月17日	川元	全国大会出場激励会 (ジュニアオリンピック、少林寺拳法)	4
12月5日	川元	全国大会出場激励会 (バトントワーリング)	5
12月9日	川元	全国大会出場激励会 (マーチングバンド)	6
12月16日	川元	全国大会出場激励会 (サッカースポ少)	7
	川元	全国大会出場激励会 (中学生バレーボール)	8
	川元	全国大会出場激励会 (小学生バドミントン)	9
12月21日	川元	全国大会出場激励会 (高校サッカー)	10
12月26日	川元	全国大会出場激励会 (丸岡RUCK)	11
平成29年2月13日	川元	激励会(チアダンス、福商高チアリーダー部)	12
3月10日	川元	全国大会出場激励会 (高校女子ソフト、ウエイトリフティング、自転車)	13
3月15日	川元	全国大会出場激励会 (中学ソフトテニス、バトントワーリング、小学ソフトテニス)	14

指導主事学校訪問

時 期	委 員 名	活 動 内 容		
前期	5月13日	三宅、若松、牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (三国北小)	1
	5月17日	三宅、若松、牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (春江中)	2
	5月19日	若松、牧田	指導主事学校訪問 (丸岡中)	3
	5月26日	三宅、若松、牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (春江東小)	4
	5月27日	三宅、若松、牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (坂井中)	5
	5月31日	三宅、若松、田中	指導主事学校訪問 (雄島小)	6
	6月3日	田中、川元	指導主事学校訪問 (磯部小)	7
	6月7日	三宅、若松、牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (明章小)	8
	6月9日	三宅、若松、牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (加戸小)	9
	6月10日	三宅、若松、川元	指導主事学校訪問 (高椋小)	10
	6月14日	三宅、若松、牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (大関小)	11
	6月16日	三宅、若松、牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (丸岡南中)	12
	6月17日	牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (春江小)	13
	6月21日	三宅、若松、川元	指導主事学校訪問 (東十郷小)	14
	6月24日	三宅、若松、牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (三国中)	15
	6月28日	三宅、若松、牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (長畝小)	16
後期	10月6日	牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (大石小)	17
	10月7日	三宅、若松、牧田、川元	指導主事学校訪問 (鳴鹿小)	18
	10月12日	若松、田中、牧田、川元	指導主事学校訪問 (坂井中)	19
	10月13日	三宅、若松	指導主事学校訪問 (丸岡中)	20
	10月14日	三宅、牧田、川元	指導主事学校訪問 (三国中)	21
	10月26日	三宅、若松、牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (春江西小)	22
	11月1日	三宅、若松、牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (三国南小)	23
	11月2日	三宅、若松、牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (春江中)	24
	11月8日	三宅、牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (三国西小)	25
	11月10日	三宅、若松、田中、川元	指導主事学校訪問 (平章小)	26
	11月11日	三宅、若松、牧田、川元	指導主事学校訪問 (木部小)	27
	11月15日	三宅、若松、田中、川元	指導主事学校訪問 (春江小)	28
	11月16日	川元	指導主事学校訪問 (磯部小)	29
	11月17日	田中、川元	指導主事学校訪問 (丸岡南中)	30
11月29日	三宅、若松、牧田、田中、川元	指導主事学校訪問 (兵庫小)	31	
11月30日	三宅、田中、川元	指導主事学校訪問 (高椋小)	32	

### 3 委員会、審議会等の審議状況

名 称	委員数	会 議 開催数	件 名	種別	年月日
坂井市社会教育委員の会	15(4)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度社会教育関係事業の概要について</li> <li>放課後子どもプランについて</li> <li>合宿通学事業について</li> </ul>	協議	H28.6.15 H28.8.30 H29.3.29
坂井市図書館協議会	11 (7)	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館の概要について</li> <li>平成27年度事業報告について</li> <li>平成27年度決算報告について</li> <li>平成28年度事業計画について</li> <li>平成28年度坂井市立図書館利用状況、各館の行事報告</li> <li>「坂井市子どもの読書活動推進計画」の延長について</li> <li>平成29年度主要事業および予算の概要について</li> </ul>	協議	H28.7.13 H29.2.24
坂井市スポーツ推進委員会	44(14)	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度事業計画について</li> <li>スポーツ推進委員会及び各部会の運営について</li> <li>北陸地区スポーツ推進委員研修会について</li> <li>ウォークラリー大会について</li> <li>スポレッシュ教室について</li> <li>マリン体操普及推進について</li> <li>ケーブルテレビによるスポーツ推進委員活動紹介について</li> <li>平成28年度事業活動について</li> <li>平成28年度事業計画について</li> </ul>	協議	H28.4.6 H28.4.13 H28.4.28 H28.5.16 H28.6.9 H28.6.17 H28.7.4 H28.7.25 H28.8.23 H28.8.31 H28.9.21 H28.10.4 H28.10.19 H28.10.26 H28.11.9 H28.11.30 H28.12.21 H29.1.13 H29.3.7 H29.3.14 H29.3.21
坂井市教育支援委員会	36 (33)	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育支援委員会 園児児童生徒の就学先を個別に判断・決定に関すること</li> <li>教育支援委員専門委員会 専門家を招いて園児児童生徒の就学相談に関する こと</li> </ul>	協議	H28.4.14 H28.6.8 H28.7.7 H28.8.4 H28.11.17 H29.1.19
坂井市青少年愛護センター 運営委員会	20(5)	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛護センターの事業報告</li> <li>愛護センターの事業計画</li> <li>青少年の動向</li> <li>補導活動、相談業務</li> </ul>	協議	H28.6.28 H29.3.9
坂井市文化財保護審議会	9(0)	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度事業計画について</li> <li>文化財の説明看板の設置について</li> <li>年度末の事業報告</li> <li>文化財の新規指定について</li> <li>文化財調査報告</li> <li>調査に伴う現地視察(丸岡城発掘調査)</li> </ul>	会議 視察 会議	H28.6.1 H28.11.4 H29.2.21

名 称	委員数	会 議 開催数	件 名	種別	年月日
坂井市文化未来会議	12(4)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の会議の方向性について</li> <li>・今年度の視察研修について</li> <li>・先進地視察研修(京都府舞鶴市・福井県小浜市)</li> <li>・文化教育普及活動実績および来年度の方向性について</li> </ul>	会議 会議 視察 会議	H28.5.24 H28.10.3 H28.10.13 H29.2.27
坂井市一筆啓上日本一短い 手紙の館運営審議会	6(1)	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙の館の運営状況報告および事業計画について</li> <li>・事業報告、管理公社との統合について</li> </ul>	会議 会議	H28.6.28 H29.3.9
丸岡城調査研究委員会	11(1)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度調査研究事業の進捗報告</li> <li>・平成29年度事業計画について</li> <li>・発掘調査現場視察</li> <li>・構造部会</li> <li>・調査研究事業の報告について</li> <li>・平成29年度の事業計画について</li> </ul>	会議 会議 会議	H28.10.31 H29.2.25 H29.3.13
みくに龍翔館リニューアル 検討委員会	9(1)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のリニューアルスケジュールについて</li> <li>・新しいみくに龍翔館のありかたについて</li> <li>・文化庁訪問と協議結果報告</li> <li>・リニューアル基本構想について</li> </ul>	会議 会議 会議	H28.6.12 H28.11.21 H29.2.2
福井しあわせ元気国体 坂井市実行委員会 総会	140(9)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度事業報告について</li> <li>・平成27年度収支決算について</li> <li>・平成28年度事業計画(案)について</li> <li>・平成28年度収支予算(案)について</li> <li>・福井しあわせ元気国体坂井市開催推進総合計画の見直しについて</li> </ul>	協議	H28.8.3
福井しあわせ元気国体 坂井市実行委員会 常任委員会	41(1)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂井市広報基本計画(案)について</li> <li>・坂井市市民運動推進基本計画(案)について</li> <li>・坂井市観光・接伴基本計画(案)について</li> <li>・坂井市競技運営基本計画(案)について</li> <li>・坂井市式典基本計画(案)について</li> <li>・坂井市施設整備基本計画(案)について</li> <li>・坂井市宿泊基本計画(案)について</li> <li>・坂井市医事衛生基本計画(案)について</li> <li>・坂井市輸送交通基本計画(案)について</li> </ul>	協議	H28.4.25
福井しあわせ元気国体 坂井市実行委員会 総務企画専門委員会	26(2)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂井市市民運動実施計画(案)について</li> <li>・坂井市服飾整備要項(案)について</li> <li>・坂井市協賛取扱要項(案)について</li> <li>・坂井市歓迎装飾実施要項(案)について</li> <li>・坂井市観光・接伴実施要項(案)について</li> <li>・坂井市総合案内所・休憩所設置要項(案)について</li> <li>・坂井市売店設置運営要項(案)について</li> <li>・坂井市市民運動アクションプラン(案)について</li> </ul>	協議	H29.3.7
福井しあわせ元気国体 坂井市実行委員会 競技式典専門委員会	18(1)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂井市プレ大会開催基本計画(案)について</li> <li>・坂井市競技用具整備要項(案)について</li> <li>・坂井市競技施設整備要項(案)について</li> </ul>	協議	H29.3.9

名 称	委員数	会 議 開催数	件 名	種別	年月日
福井しあわせ元気国体 坂井市実行委員会 宿泊衛生専門委員会	15(3)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂井市医療救護対策要項(案)について</li> <li>・坂井市感染症(防疫)対策要項(案)について</li> <li>・坂井市食品衛生対策要項(案)について</li> <li>・坂井市環境衛生対策要項(案)について</li> </ul>	協議	H29.3.6
福井しあわせ元気国体 坂井市実行委員会 輸送交通専門委員会	18(1)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂井市輸送交通業務実施要項(案)について</li> <li>・坂井市開催競技別ブレ大会輸送計画(案)について</li> <li>・坂井市消防・防災・警備実施計画(案)について</li> <li>・坂井市消防・防災・警備実施要項(案)について</li> </ul>	協議	H29.3.13

※委員数のうち( )内は女性の委員数



#### 4 教育委員会関係の許認可の状況

##### (1) 文化財の指定状況

<指定文化財の現状>

平成29年3月31日現在

区 分	国			県指定	市指定	計
	指定	選定・選択	登録			
国 宝	1					1
重要文化財	9					9
有形文化財				20	34	54
無形文化財						0
重要有形民俗文化財						0
有形民俗文化財					1	1
重要無形民俗文化財						0
無形民俗文化財				6	6	12
特別史跡						0
史 跡	2			3	12	17
特別名勝						0
名 勝	1					1
特別天然記念物						0
天然記念物	1			3	6	10
特別名勝天然記念物						0
名勝天然記念物	1					1
重要伝統的建造物群 保存地区						0
選定保存技術						0
登録有形文化財			10			10
登録記念物			1		6	7
合 計	15	0	11	32	65	123

平成28年度追加(2件)

○新保春日神社本殿 県指定(建造物) 平成28年3月25日指定

○雄島海女の素潜り漁と加工技術 県指定(無形民俗) 平成29年3月31日指定

平成28年度

事業別施策の成果報告書

坂井市教育委員会

予 算 款	10 教育費	01 教育総務費	目	01 教育委員会費	決 算 書
大 事 業	001 教育委員会運営事業				P. 189.
中 事 業	01 教育委員会運営事業				所管 教育委員会事務局 部局 教育総務課
予 算 額	当初	決 算 額	不 用 額		
	3,137 千円	3,019 千円	118 千円		
前年度	2,874 千円	2,765 千円	109 千円		
主 な 特 定 財 源					
予 算 流 用 (増 減) 額		0 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円	

【事業の目的】  
生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など、幅広い分野にわたる教育行政を、一体的に推進し、創造的で人間性豊かな人材の育成を図る。また、学校教育、社会教育・体育及び芸術分野での優秀な成績をおさめ、活躍したことに對し表彰し一層の振興を図る。

- 【事業の概要】
- ◆教育委員会運営事業
    - 教育委員報酬 2,520 千円
    - 報償費(指導謝礼) 6 千円
    - 旅費(費用弁償) 233 千円
    - 需用費(印刷製本費他) 69 千円
    - 負担金(黒市町教育委員会連絡協議会負担金他) 82 千円
- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| 教育委員会の開催数       | 13 回 (3回) |
| (うち、本庁舎以外での開催数) |           |

- ◆教育委員会表彰事業
    - 報償費(記念品等) 99 千円
    - 需用費(消耗品費) 10 千円
- |            |               |
|------------|---------------|
| 市教育委員会表彰内訳 |               |
| 功労賞        | 8名 計 8件       |
| 功績賞        | 9名 計 9件       |
| 奨励賞        | 6団体・10名 計 16件 |

【事業の成果と改善点等】  
月1回の定例会および臨時会合わせて年間13回の教育委員会を開催し、教育行政について協議を行った。

予 算 款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費	決 算 書
大 事 業	051 教育委員会事務局事業					P. 191
中 事 業	01 教育委員会事務局事業					所管 教育委員会事務局 部局 教育総務課
予 算 額	当初 補3号 補4号	決 算 額	不 用 額			
	11,261 千円	9,602 千円	1,659 千円			
前年度	13,396 千円	11,912 千円	1,484 千円			
主 な 特 定 財 源	寄附金 教育振興指定寄附金 奨学育英資金貸付金収入					3,232 千円 1,261 千円 千円
予 算 流 用 (増 減) 額		0 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円		0 千円

【事業の目的】  
教育行政を一体的に推進するため、教育委員会事務局全体の運営調整を図る。また、教育振興会等への支援を通じて、学校教育の振興に努める。

- 【事業の概要】
- ◆教育委員会事務局事業
    - 旅費(教育長・職員出張旅費) 9,132 千円
    - 交際費(教育長交際費)
    - 需用費(消耗品・書籍他)
    - 委託料
  - ストレスチェック委託料 136 千円
  - 中高連絡協議会事業委託料 725 千円
  - 使用料及び賃借料(車両借上料他)
  - 負担金、補助及び交付金【教育振興指定寄附金】
    - 坂井地区教育振興会負担金他 4,651 千円
    - 小中学校教育振興会奨励金他 2,014 千円
  - 貸付金(奨学育英資金貸付者 3人) 600 千円
- ◆省工対策事業
- 委託料(省工コンサル委託料) 470 千円
  - 470 千円

【事業の成果と改善点等】  
教育行政全般にわたり運営調整を図るとともに、教育振興会等への支援を行い教育振興に取り組んだ。また、ストレスチェックを実施し、教職員のメンタルヘルスの維持向上を図った。

予算款	10 教育費	項 02 小学校費	目 01 学校管理費	決算書
大事業	051	小学校管理事業		決算書 P. 193
中事業	01	小学校管理事業		所管 部局 教育局 教育総務課
予算額	当初 補1号 補3号	決 算 額	不 用 額	
前年度	352,541 千円	338,720 千円	13,821 千円	
主な 特定 財源	県支出金 原子力防災における住民避難対策補助金 雑入（公衆電話使用料他）	265,557 千円	16,849 千円	
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】  
市内の小学生在が充実した学校教育を受けられることができる教育環境を整えるため、市内19小学校施設の適正な維持管理を行う。

- 【事業の概要】
- ◆小学校管理事業 本庁
    - 賞金（臨時職員用務員） 246,992 千円
    - 旅費（用務員） 14,672 千円
    - 需用費（ボール用消毒剤・修繕料他） 330 千円
    - 役務費（火災保険他） 15,867 千円
    - 委託料（各種保守点検委託料他） 7,272 千円
    - 使用料及び賃借料（土地借上料、教育用コンピューター他） 33,468 千円
    - 工事請負費（トイレ改修、屋上防水改修工事他） 85,351 千円
    - 原材料費（机天板、椅子座面、川砂他） 60,067 千円
    - 公有財産購入費（土地購入費） 2,020 千円
    - 備品購入費（自動車外式除細動器・AED、乾式滅菌器他） 19,848 千円
    - 備品購入費（掃除機） 8,097 千円
  - ◆小学校管理事業 各小学校
    - 市内19小学校にて対応する維持管理費 90,554 千円
    - 需用費（消耗品費・光熱水費他） 80,807 千円
    - 役務費（通信運搬費他） 4,774 千円
    - 委託料（各種保守点検料） 2,273 千円
    - 使用料及び賃借料（複写機リース料他） 2,692 千円
    - 備品購入費（掃除機） 8 千円
  - ◆省工本対策事業
    - 使用料及び賃借料 テラメント監視サービス使用料（全小学校分） 1,174 千円

【事業の成果と改善点等】  
市内19小学校の適正な維持管理を行い、教育環境の改善に取り組んだ。また、全小学校に導入したテラメント監視サービスを活用し、積極的な省工本対策に取り組んだ。

予算款	10 教育費	項 02 小学校費	目 01 学校管理費	決算書
大事業	101	小学校施設整備事業		決算書 P. 195
中事業	01	小学校施設整備事業		所管 部局 教育局 教育総務課
予算額	当初 補5号	決 算 額	不 用 額	
前年度	432,454 千円	37,422 千円	395,032 千円	
主な 特定 財源	合併特別事業債	878,045 千円	1,094 千円	
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円
【上記決算額内訳】				
当該年度分	予 算 額	432,454 千円	決 算 額	37,422 千円
翌年度への繰越額		390,454 千円		

【事業の目的】  
児童の安全安心を確保し、災害に備えるために、建築後40年が経過し、かつ、以前の改修から20年を経過する学校等について計画的に施設の大規模改造工事を行う。

- 【事業の概要】
- 委託料
    - ・春江小学校校舎大規模改造工事設計委託料 15,606 千円
    - （株）佐々木一級建築士事務所
    - ・春江西小学校校舎大規模改造工事設計委託料 10,314 千円
    - （株）大澤設計事務所
    - ・大石小学校校舎大規模改造工事設計委託料 11,502 千円
    - （株）木下設計

【事業の成果と改善点等】  
大規模改造工事の実施に向けて、学校等と連絡を密にとりながら、必要な設計業務を実施した。



予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	07 社会教育施設費
大事業	001	キンダーホール管理運営事業			決算書 P. 209
中事業	01	キンダーホール管理運営事業			所管 部局 教育委員会事務局 教育総務課
予算額	当初		決算額		不 用 額
前年度		3,519千円		3,013千円	506千円
主な 特定 財源		1,406千円		1,291千円	115千円
		教育費雑入			12千円
予算流用(増減)額			0千円	予備費充用額	0千円

【事業の概要】  
放課後の児童・生徒の居場所として当該施設を開放し、地域住民の集会所等の開催場所として貸すことなどを通じて、青少年の健全育成や地域コミュニティの活性化を図る。

- 【事業の概要】
- 賃金(臨時職員) 966千円
  - 需用費(燃料費、光熱水費、修繕料) 345千円
  - 役員費(電話料・火災保険料) 43千円
  - 委託料(耐震診断業務委託料(出村建築設計事務所)) 1,636千円
  - 使用料(放送受信料) 23千円

【開館時間】 月・火・水・木・金 (午後3時~6時)  
(土曜日・日曜日・祝日・祭日・年末年始は休館)

【児童・生徒の利用状況】 単位:人

	年間利用者数	1日平均利用者数
平成28年度	2,043	8.1
平成27年度	2,460	10.0
平成26年度	1,942	7.9
平成25年度	1,194	4.8
平成24年度	1,882	7.5

【事業の成果と改善点等】  
放課後の児童の利用や地域住民の集会所として利用された。耐震診断の結果、耐震性が低く、改修には多額の費用がかかることが判明した。施設の閉鎖に向け、引き続き地元との協議を行う。

予算款	13 諸支出金	項	02 基金費	目	14 教育振興整備基金費
大事業	001	教育振興整備基金			決算書 P. 231
中事業	01	教育振興整備基金			所管 部局 教育委員会事務局 教育総務課
予算額	当初		決算額		不 用 額
前年度		25千円		11千円	14千円
主な 特定 財源		41千円		25千円	16千円
		教育振興整備基金利息			11千円
予算流用(増減)額			0千円	予備費充用額	0千円

【事業の概要】  
坂井市の将来を担う子どもたちを、健全に育成することを目的とした教育の振興及び教育施設の利用環境整備に必要な財源に充てるため、教育振興整備基金を設置している。

- 【事業の概要】
- 積立金 11千円
  - 教育振興整備基金利息

平成27年度末 現在高 ①	取崩額 ②	積立額 ③	平成28年度末 現在高 ①-②+③
36,320千円	0千円	11千円	36,331千円

【事業の成果と改善点等】  
利息分を積み立て、適切に基金管理を行った。

予算	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	01 教育委員会費
大事業	051	教育相談事業				決算書 P. 189
中事業	01	教育相談事業				所管 部局 教育局課
予算額	当初		決算額		不用額	
前年度		12,336 千円		12,137 千円		199 千円
主な 特定 財源	県支出金	スクールソーシャルワーカー活用事業委託金		12,237 千円		286 千円
予算流用(増減)額				241 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】  
市内小中学校の児童生徒の不登校対策として、早期の学級復帰への支援、併せて保護者に対して子どもとの理解や対応に関する指導等、教育相談業務の充実を図る。

- 【事業の概要】  
◆教育相談事業  
○賞金(指導員5名) 9,759 千円  
○報償費(委員手当他) 88 千円  
○旅費 55 千円  
○需用費(消耗品費、光熱水費他) 410 千円  
○役務費(電話料、火災保険料、傷害保険料) 115 千円  
○委託料(各種保守点検料他) 59 千円  
○使用料及び賃借料(インターネット使用料、車両借上料他) 55 千円  
○負担金(全国通應指導教室連絡協議会費) 5 千円  
◆スクールソーシャルワーカー活用事業 1,591 千円  
○賞金(1名) 1,566 千円  
○旅費 25 千円

【事業の成果と改善点等】  
不登校の児童生徒に対し、通應指導教室の指導員やスクールソーシャルワーカーの緊密な連携により、早期の学級復帰及び社会的自立に向け、保護者も含めた支援・指導を行った。また、学校と通應教室間で、本人の状況・特性等の情報を共有することにより、学校において不登校者の受け入れ方や関わり方に役立たせることができた。

【事業の実績等】

通應指導教室	H28	16人	11人	復帰率	68.8%
通室者復帰率	H27	21人	18人		85.7%

不登校児童生徒数	H28	9人	中学生
	H27	9人	69人
		77人	

\*不登校による欠席日数が30日以上の人数

予算	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	01 教育委員会費
大事業	101	学級運営支援事業				決算書 P. 191
中事業	01	学級運営支援事業				所管 部局 教育局課
予算額	当初	補2号	決算額		不用額	
前年度		80,213 千円		74,830 千円		5,383 千円
主な 特定 財源	県支出金	遠隔授業・研修システム整備事業補助金		71,717 千円		3,713 千円
予算流用(増減)額				△ 241 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】  
市内の小中学校における学級運営の円滑化のため、学習面、生活面で特別な支援を必要とする児童生徒の支援を行う学級サポートの配置などを実施し、教育環境の充実を図る。

- 【事業の概要】  
◆学級運営支援事業 73,689 千円  
○賞金(学級サポート) 73,126 千円  
○旅費 70 千円  
○委託料(研修委託料) 371 千円  
○使用料及び賃借料(車両借上料他) 122 千円  
◆問題行動サポート事業 916 千円  
○賞金(自立支援指導員) 916 千円  
◆遠隔授業・研修システム整備事業 225 千円  
○備品購入費(遠隔授業・研修システム用機器購入) 225 千円

【事業の成果と改善点等】  
発達障がい等により、学習面や生活面で特別な支援を必要とする児童生徒のために、学級サポートを配置し、対象となる児童生徒の学習支援と学級運営の円滑化を図った。また、学級サポートを対象とした研修会を2回実施することにより、支援のために必要な知識を習得することによるスキル向上を図った。遠隔授業・研修システム整備事業については、員教育機関や市教育委員会、各学校の双方要望通信研修が行える体制を構築するため、機器を整備した。

【事業の実績等】

H28実績	H27実績
学級サポート数	58人
自立支援指導員数	55人
中学校生徒相談員数(相談室)	7人

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大事業	151	学校保健総合支援事業			決算書、 P. 191		決算書		
中事業	01	学校保健総合支援事業			所管 部局		教育委員会事務局 学校教育課		
予算額	補1号	決算額		不 用 額					
前年度	100千円	84千円	0千円	16千円					
主な 特定 財源	県支出金 0千円	学校保健総合支援事業委託金	84千円	0千円					
予算流用(増減)額	0千円	0千円	予備費充用額	0千円					

【事業の目的】  
 つ歯の発生率が高い坂井地区の小・中学校を対象に、学校、家庭、地域の医療機関が連携し、健康課題の解決のための事業に取り組み、児童生徒のう歯の予防及び治療率の向上を図る。

【事業の概要】

- 【対象校】 坂井中学校、東十郷小学校、大関小学校、兵庫小学校、木部小学校  
 【負担割合】 県 10/10  
 ○報償費（地域検討委員会委員謝礼、研修会講師謝礼） 30千円  
 ○需用費（消耗品費） 54千円

【事業の成果と改善点等】  
 歯科医師や校長、養護教諭を交えて検討委員会を年7回開催し、事業の取り組みや活動結果について協議を行った。  
 保護者への啓発については、歯の健康と生活習慣改善について講演会を開催し、児童に実施した。歯磨き教室や地区におけるイベント開催時に来店し、歯の健康に関する啓発を今後は、養護教諭を中心として、歯と口の健康に限らず、児童生徒が健康づくりに主体的に取り組むために、一人一人の課題解決を目指した指導を重ねていく。

【事業の実績等】

H28実績	H27実績
う歯治療率 80.7%	67.6%

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大事業	201	魅力ある学校づくり調査研究事業			決算書 P. 191		決算書		
中事業	01	魅力ある学校づくり調査研究事業			所管 部局		教育委員会事務局 学校教育課		
予算額	補1号	決算額		不 用 額					
前年度	665千円	429千円	0千円	236千円					
主な 特定 財源	県支出金 0千円	魅力ある学校づくり調査研究事業委託金	429千円	0千円					
予算流用(増減)額	0千円	0千円	予備費充用額	0千円					

【事業の目的】  
 近年、全国的に不登校児童生徒数が増加傾向にあり、坂井市においても増加している状況から、不登校における学校での取組みを検証する。平成28年度は、丸岡中学校区内を対象として県教育委員会及び市教育委員会が連携して事業に取り組み、坂井市全体の不登校対策を推進する。

【事業の概要】

- 【対象校】 丸岡中学校、平草小学校、長畷小学校、高橋小学校  
 【負担割合】 県 10/10  
 ○報償費（研修会講師謝礼） 10千円  
 ○旅費（特別旅費：連絡協議会、先進地視察） 213千円  
 ○需用費 142千円  
 消耗品費（事務用消耗品） 26千円  
 食糧費（会議用飲み物代） 17千円  
 印刷製本費（リーフレット印刷） 99千円  
 ○使用料及び賃貸料（車両借上料） 55千円  
 ○備品購入費（生徒指導関連図書購入） 9千円

【事業の成果と改善点等】  
 具体的な取り組みとして、「互いのよさを認め、主体的に学び高め合う児童生徒の育成」を主体的なテーマとした。児童生徒に対してアンケートを実施し、学校が楽しく授業がよく分かることが不登校対策につながることを理解され、集団づくりと授業づくりに対する取り組みについて協議した。  
 集団づくりでは、学校行事を通してみんなで何かをすることを楽しさ、授業づくりでは、よくわかる楽しい授業により、主体的に授業に取り組む児童生徒を育成する。次年度については、モデル的に実施した丸岡中学校区の取り組みを参考として、市全体の小中学校区で推進する。

【事業の実績等】

H28実績	H27実績
不登校出現率 (不登校/全児童数) 0.98%	H27実績 1.04%



予算款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費	決算書
大事業	001	小学校教育振興事業				P. 195
中事業	01	小学校教育振興事業				教育委員会事務局 学校教育部
予算額	当初	補1号	決算額	不用額		
	43,367 千円		39,078 千円	4,289 千円		
前年度			74,374 千円	1,539 千円		
主込	県支出金	道徳教育総合推進事業委託金		171 千円		
特定	県支出金	環境・エネルギー教育支援事業補助金		3,138 千円		
財源	県支出金	地域と進める体験推進事業補助金		92 千円		
予算流用(増減)額		△ 607 千円	予備費充用額	0 千円		
【事業の目的】 児童に生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。						
【事業の概要】 ◆小学校教育振興事業 本庁 市内19小学校の統括的な教育振興事業 ○賃金(外国語指導助手 9名) 4,151 千円 ○報償費(卒業記念品) 905 千円 ○報償費(教材用消耗品、教育用印刷費) 127 千円 ○委託料(各作品展運営委託料) 324 千円 ○使用料及び賃借料(校外活動車両借上料他) 6,889 千円 ○備品購入費(特別支援学級用教材) 755 千円 ○負担金(特別支援学級研修会負担金他) 334 千円 ○補助金(教職員大学院派遣事業補助金) 141 千円 ◆小学校教育振興事業 各小学校 市内19小学校にて対応する教育振興事業 ○報償費(講師謝礼) 21,959 千円 ○需用費 124 千円 ○需用費 10,551 千円 消耗品費(教材用) 9,392 千円 印刷製本費(卒業証書・保健調査票等の印刷) 695 千円 修繕料(教材備品の修繕) 464 千円 ○備品購入費 教材用備品 7,223 千円 図書購入費 図書購入費 4,061 千円 道徳教育総合推進事業 171 千円 〔実施校〕3校(三国南小、鳴鹿小、磯部小) ○報償費 講師謝礼 60 千円 ○需用費 消耗品費(教材用) 111 千円						

【次頁へ】...

予算款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費	決算書
大事業	001	小学校教育振興事業				P. 195
中事業	01	小学校教育振興事業				教育委員会事務局 学校教育部
...【前頁より】						
◆環境・エネルギー教育支援事業 3,138 千円 〔対象校〕坂井市内小学校 19校 〔負担割合〕県 10/10 ○使用料及び賃借料(エネルギー関連施設見学バス代) 130 千円 ・平草小、大石小 ○備品購入費(環境・エネルギー教育関連備品購入費) 3,008 千円 ・小学校19校 ◆地域と進める体験推進事業 184 千円 〔モデル校〕三国南小学校(事業内容：農業体験学習等) 〔負担割合〕県 1/2 ○需用費 177 千円 消耗品費(事務用消耗品・体験学習材料費) 83 千円 食糧費(体験活動飲み物代) 10 千円 印刷製本費(カイドブック作成印刷代) 84 千円 ○使用料及び賃借料(農業関連車両借上料・有料道路通行料) 7 千円 【事業の成果と改善点等】 英語力向上のため、外国語指導助手(AET)を小学校4年～6年のクラスに配置し(4年生は年6時間、5・6年生は年35時間)、児童の英語を活用したコミュニケーション能力の向上を図った。 環境・エネルギー教育支援事業については、市内すべての小学校が実施し、学校の事業計画に基づき火力発電所等の見学や、エネルギーに関する実験等を実施し理解を深めた。地域と進める体験推進事業については、三国南小学校で実施し、地域に誇りや愛着を持つ児童生徒を育成していく内容に取り組んだ。今後すべての小学校で取り組む予定となっている。 また、小学校図書館の運営支援として、中学校へ配置している図書館司書が教育委員会や校区内小学校と定期的に意見交換しながら、図書館の充実に努めた。						
【事業の目標値と実績等】						
			目標値	実績	達成率	
			学校図書数	136,400冊	152,728冊	112.8%
*目標値：学級数による図書標準冊数						

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費
大事業	001 小学校教育振興事業	決 算 書 P. 197	
中事業	06 小学校児童健康管理事業	所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額
	18,405 千円	18,345 千円	60 千円
前年度	18,019 千円	17,589 千円	430 千円
主な 特定 財源	子どもの目と歯の健康プロジェクト事業補助金 雑入（日本スポーツ振興センター負担金）		174 千円 2,332 千円 千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】  
小学校における児童の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

【事業の概要】

学校保健安全法に基づき、児童の健康管理のため各種健康診断を行う。  
・内科及び歯科（全学年）、眼科（2年・5年）、耳鼻科（1年～3年）、  
・寄生虫（1年～3年）、さよ虫（1年～3年）、尿（全学年）、  
心電図（1年）

○報償費（医師・歯科医師・薬剤師手当） 10,343 千円  
○需用費（事務用消耗品・印刷費） 259 千円  
○役務費（検査機器点検手数料） 476 千円  
○委託料（健康診断委託料） 2,250 千円  
○負担金（日本スポーツ振興センター負担金） 5,017 千円  
加入者数 5,065 人 給付件数 372件

【事業の成果と改善点等】

学校医及び学校歯科医による健康診断の診断結果に基づき、養護教諭により児童一人一人の健康課題について指導を行い、児童の健康保持・増進を図った。  
また、夏、秋の補助を受け、秋の歯科健診を実施し、保健指導、経過観察および治療への継続的なケアを行い、う歯の治癒率の向上を図った。

【事業の実績等】

スポーツ保険給付件数	H28実績 372件	H27実績 386件
------------	------------	------------

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費
大事業	001 小学校教育振興事業	決 算 書 P. 197	
中事業	21 学校生活ボランティア推進事業	所管 部局	教育委員会事務局 学校教育課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額
	150 千円	126 千円	24 千円
前年度	144 千円	127 千円	17 千円
主な 特定 財源	県支出金 学校生活ボランティア推進事業費補助金		113 千円 千円 千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】  
学校活動において、保護者及び地域の人たちのボランティアによる活動を取り入れ、児童の学校生活を支援することで、地域と連携したきめ細かな教育体制の充実を図る。

【事業の概要】

○役務費  
傷害保険料  
加入者数 419人  
126 千円

【事業の成果と改善点等】

市内すべての小学校において、読み聞かせや収穫体験等の活動に対し、学校生活ボランティアとして地域の方々の協力をいただいた。  
特に収穫体験については、農業の専門性を持った地域の方々から直接学ぶことにより、地域力を活かした教育が実現した。

【事業の実績等】

加入者数	H28実績 419人	H27実績 422人
------	------------	------------

予算	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業				決算書 P. 197
中事業	26	ふれあい交流事業				所管 部局 学校教育課
予算額	当初		決算額			不用額
前年度		4,801 千円		4,275 千円		526 千円
主な 特定 財源		4,801 千円		4,441 千円		360 千円
予算流用(増減)額				0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】  
市の将来を担う子どもたちが、様々な交流を通して、各地域の個性と特色を尊重するとともに自らの地域を再認識し、郷土に対する愛着や誇りの気持ちを持つよう、子どもたち同士との交流、地域との交流、小中学校間の交流を促進する。

【事業の概要】

- 報償費 33 千円
- 需用費 115 千円
- 委託料 100 千円
- 委託料 200 千円
- 使用料及び賃借料 102 千円
- 協力者謝礼 3,687 千円
- 消耗品費 26 千円
- 食糧費 12 千円
- 事業運営委託料 (音楽会、連合運動会)
- 園場管理委託料
- 車両借上料
- 機材借上料
- 体験学習使用料

【事業の成果と改善点等】

市内の全小学校において、地域交流事業、小中連携事業、音楽交流会、連合運動会、自然教室、又キー教室を実施した。ふれあい交流事業については、県や市の魅力などを体験できるような取り組みを継続して実施する。  
また、時代とともに変化する学習環境の中で、子どもたちに必要な事業を検討する。

予算	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業				決算書 P. 197
中事業	31	学力充実推進事業				所管 部局 学校教育課
予算額	当初		決算額			不用額
前年度		2,158 千円		2,126 千円		32 千円
主な 特定 財源		2,139 千円		2,109 千円		30 千円
予算流用(増減)額				0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】  
児童一人ひとりの「確かな学力」の育成状況を正しく把握するとともに学習課題を分析し、児童の学習改善や教員の授業における工夫改善に活用するために全学年での学力調査を行い、児童の学力向上と教員の指導力向上を図る。

【事業の概要】

毎年4月に小学校6年生を対象に行われる全国学力・学習状況調査にあわせて、全小学校2～5年生の国語・算数の学力調査を行う。  
調査結果を踏まえ、各小学校の課題を見つけて、その課題を解決することを目的とした各小学校の研究主任によるワークショップを開催し、学力向上のための取組みを行う。

○委託料 (学力調査委託料)

2,126 千円

【事業の成果と改善点等】

全国で実施した大規模モニター調査によって標準化された「偏差値」に基づき、坂井市における児童の「確かな学力」を分析している。  
また、各小学校においては、その学校の児童の調査結果に基づき継続的・実践的な取り組みにより、学力向上と教員の指導力向上が図られた。

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費
大事業	051 児童就学援助事業		決 算 書 P. 197
中事業	01 児童就学援助事業		所管 部局 学校教育課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額
前年度	24,300 千円	22,225 千円	2,075 千円
主な 特定 財源	23,657 千円 国庫支出金 特別支援教育就学奨励費補助金	22,371 千円	1,286 千円 1,278 千円 千円 千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】  
学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】  
経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・医療費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。

○扶助費  
特別支援教育就学援助費 2,556 千円  
要・準要保護児童就学援助費 19,669 千円

【事業の成果と改善点等】  
就学援助を必要とする児童に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。  
要・準要保護児童就学援助費について、国の基準単価に基づき援助しているが、援助内容について他自治体の状況を調査し、併せて新入学用品準備金の早期支給について検討する。

【事業の実績等】

特別支援教育就学援助人数	H28実績	H27実績	増減
要・準要保護児童就学援助人数	80人	75人	5人
	296人	301人	△5人

予 算 款	10 教育費	項 02 小学校費	目 02 教育振興費
大事業	101 小学校通学支援事業		決 算 書 P. 197
中事業	01 小学校通学支援事業		所管 部局 学校教育課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額
前年度	79,876 千円	78,870 千円	1,006 千円
主な 特定 財源	80,479 千円 雑入(スクールバス利用者協力金)	78,420 千円	2,059 千円 7,080 千円 千円 千円
予算流用(増減)額		607 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】  
市内の小学校に通学する児童に統一した支援を行うため、学校からの一定距離以上の地区を対象にスクールバスを運行する等、遠距離通学の解消と、より安全・安心な通学の確保を図る。

【事業の概要】  
遠距離通学者の通学距離に応じて、委託スクールバスの運行や路線バス利用料金の補助を行う。

区分	要 件
1年生~3年生	学校からの距離で、概ね1.5km以上の地区
4年生~6年生	学校からの距離で、概ね2.0km以上の地区
	冬期間(12月~2月)のみ1.5km以上の地区

※利用期間は4月~3月(8月は除く)

○需用費(乗車証印刷製本費) 35千円  
○委託料 73,181千円  
・スクールバス運行 三国地区1台(通年・冬期)  
丸尾地区7台(通年・冬期)  
香江地区4台(通年・冬期)  
坂井地区4台(通年・冬期)  
○使用料及び賃借料(車両借上料 三国地区) 108千円  
○補助金 5,546千円  
・通学費補助金(三国地区)

【事業の成果と改善点等】  
通学距離が一定距離以上の地区の児童を対象として、スクールバスの委託運行や通学費の補助を行うことにより、安全で安心な通学手段を確保することができた。

【事業の実績等】

H28実績	H27実績	増減	
バス利用者数	1,332人	1,343人	△11人

予算	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費	決算書 P. 201
大	事	業	001	中学校教育振興事業			教育委員会事務局 学校教育部
中	事	業	01	中学校教育振興事業			学校教育部
予算額	当初	補1号	決算	額	不	用	額
	43,493	千円	41,502	千円			1,991 千円
前年度	33,378	千円	32,056	千円			1,322 千円
主な	原	支出金	地域と進める体験推進事業補助金				99 千円
特定	財源						千円
予算	流用	(増減)額	0	千円	予備費	充用額	0 千円

【事業の概要】  
生徒に生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実を図る。

- ◆中学校教育振興事業 本庁 24,743 千円
  - 賞金 10,899 千円
  - 報償費 733 千円
  - 旅費 23 千円
  - 常用費 12,023 千円
  - 委託料 53 千円
  - 使用料及び賃借料 音楽会及び特別支援学級合同研修会バス借上 539 千円
  - 備品購入費 タブレット機器ソフト使用料 70 千円
  - 負担金 教材用備品(購買補助機器) 107 千円
  - 補助金 県特別支援学級設置校長会負担金 13 千円
  - 坂井地区特別支援学級合同学習会負担金 142 千円
  - 教職員大学院派遣事業補助金 141 千円

- ◆中学校教育振興事業 16,371 千円
  - 報償費 市内5中学校にて対応する教育振興事業 88 千円
  - 常用費 講師謝礼 4,857 千円
  - 消耗品費(教材用) 印刷製本費(卒業証書・保健調査票等の印刷) 970 千円
  - 修繕料(教材備品の修繕) 373 千円
  - 職場体験傷害保険料(2年生) 122 千円
  - 備品購入費 教材用備品 7,534 千円
  - 図書購入費 2,427 千円

【次頁へ】

予算	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費	決算書 P. 201
大	事	業	001	中学校教育振興事業			教育委員会事務局 学校教育部
中	事	業	01	中学校教育振興事業			学校教育部

…【前頁より】

- ◆キャリア教育支援事業 189 千円
  - 報償費 講師・協力者謝礼 126 千円
  - 需用費 消耗品費 21 千円
  - 使用料及び賃借料 車両借上料 42 千円

- ◆地域と進める体験推進事業 199 千円
  - 負担割合】 三国中学校(事業内容:三国観光PR等) 県 1/2
  - 需用費 消耗品費(教材用) 118 千円
  - 役務費 印刷製本費 73 千円
  - 通信運搬費(郵便料) 4 千円
  - 傷害保険料 2 千円
  - 使用料及び賃借料 有料道路通行料 2 千円

【事業の概要と実績等】  
各中学校に1名づつ配置している学校図書館司書と教育委員会が連携して、学校図書館における生徒の意欲的な学習活動や読書活動の充実を推進している。  
また、職場体験をはじめとするキャリア教育では、それぞれの中学校の生徒が職業体験などを実施し、坂井地区キャリアフォーラムで発表することで、坂井市の魅力や特徴、そして生徒自身の将来について考える機会を設けた。  
地域と進める体験推進事業においては、三国中学校が地区の特徴、特に観光資源について学び、修学旅行でのPRや、三国花火後の清掃活動等を実施した。今後すべての中学校で取り組む予定となっている。

【事業の目標値と実績等】	目標値	実績	達成率
学校図書数	66,720冊	74,682冊	111.9%

\*目標値：学級数による図書標準冊数

【事業の目標値と実績等】

予算	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費	決算書
大事業	001	中学校教育振興事業				P. 201	教育委員会事務局 学校教育課
中事業	06	中学校生徒健康管理事業					
予算額	当初		決算額		不用額		
前年度		7,897 千円		7,741 千円		156 千円	
主な特定財源	諸収入	7,603 千円		7,364 千円		239 千円	
		雑入(日本スポーツ振興センター負担金)				1,179 千円	
予算流用(増減)額				0 千円	予備費充用額	0 千円	

【事業の目的】  
 中学校における生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

【事業の概要】

学校保健安全法に基づき、生徒の健康管理のため各種健康診断を行う。

- ・内科、歯科健診の実施(全学年)
- ・尿(全学年)、心電図(1年)検査の実施

- 報償費(医師・歯科医師・薬剤師手当) 3,352 千円
  - 需用費(健診票等印刷費) 96 千円
  - 役務費(検査機器点検手数料) 240 千円
  - 委託料(健康診断委託料) 1,419 千円
  - 負担金(日本スポーツ振興センター負担金) 2,634 千円
- 加入者数 2,563人 給付件数 534件

【事業の成果と改善点等】

学校医及び学校歯科医による健康診断の診断結果に基づき、養護教諭により生徒一人一人の健康課題について指導を行い、生徒の健康保持・増進を図った。

【事業の実績等】

H28実績	H27実績
スポーツ保険給付件数 534件	531件

予算	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費	決算書
大事業	001	中学校事業振興事業				P. 201	教育委員会事務局 学校教育課
中事業	16	クラブ活動推進事業					
予算額	当初	補2号	決算額		不用額		
前年度		23,125 千円		23,036 千円		89 千円	
主な特定財源		24,207 千円		24,205 千円		2 千円	
予算流用(増減)額				374 千円	予備費充用額	0 千円	

【事業の目的】  
 学校教育の一環として、課外活動であるクラブ活動を実施し、技術力・競技力の向上を図るとともに、出場する全国大会などの部活動の実践の機会を支援することにより、生徒の自主性、意欲の向上、集団としての規律等の社会性を育てる。

【事業の概要】

○報償費(激励費) 4,078 千円  
 部活動において大会(北信越中学校総合競技大会、全国中学校体育大会等)に出場する生徒及び指導者に対する経費の一部を支給。

- ・北信越中学校総合競技大会(富山県内)  
 【出場種目】卓球(男女)・新体操・バスケケットボール(男)・水泳(女)  
 サッカー・相撲・ソフトテニス(男女)・陸上(男女)
- ・柔道(男女)・ソフトボール(女)

- ・北陸吹奏楽コンクール(石川県)
- ・全国中学校体育大会(北信越各地区)  
 【出場種目】卓球(男女)・バスケケットボール(男)・柔道(男)・新体操(女)  
 陸上(男)・スキー(女)
- ・中部日本吹奏楽コンクール(岐阜県)

○委託料(中学校クラブ活動競技力向上委託料) 17,046 千円  
 部活動の競技力を向上を図るため、強化練習会等競技力向上を目的とする事業を各中学校に委託。

○備品購入費(丸岡中・香江中 吹奏楽部楽器購入費) 1,912 千円  
 【事業の成果と改善点等】

クラブ活動の環境が整備されたことにより、生徒の技術力・競技力が向上し、全国大会等への出場機会が増え、生徒の更なる意欲向上につなげることができた。  
 今後は、生徒のスポーツ活動における技術力向上のため、外部指導者等のあり方について検討する。

【事業の実績等】

H28実績	H27実績
全国大会出場種目数 (団体) 2種目 (個人) 6種目 29人	H27実績 (団体) 3種目 (個人) 2種目 5人

予算	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費	決算書
大事業	051	生徒就学援助事業					P. 201
中事業	01	生徒就学援助事業					所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課
予算額	当初		決算額		不用額		
		26,400 千円		25,792 千円		608 千円	
前年度		25,018 千円		23,163 千円		1,855 千円	
主な 特定 財源		国庫支出金		特別支援教育就学奨励費補助金		698 千円	
予算流用(増減)額				0 千円	予備費充用額	0 千円	

【事業の概要】  
 学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】

経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・医療費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。

○扶助費

特別支援教育就学援助費  
 要・準要保護生徒就学援助費

1,398 千円  
 24,394 千円

【事業の成果と改善点等】

就学援助を必要とする生徒に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。  
 要・準要保護生徒就学援助費について、国の基準単価に基づき援助しているが、援助内容について他自治体の状況を調査し、併せて新入学用品準備金の早期支給について検討する。

【事業の実績等】

	H28実績	H27実績	増減
特別支援教育就学援助人数	30人	23人	7人
要・準要保護生徒就学援助人数	243人	218人	25人

予算	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費	決算書
大事業	101	中学校通学支援事業					P. 201
中事業	01	中学校通学支援事業					所管 部局 教育委員会事務局 学校教育課
予算額	当初		決算額		不用額		
		49,626 千円		47,381 千円		2,245 千円	
前年度		49,012 千円		48,187 千円		825 千円	
主な 特定 財源		雑入		(スクールバス利用者協力金)		5,850 千円	
予算流用(増減)額				△ 374 千円	予備費充用額	0 千円	

【事業の目的】  
 市内の中学校に通学する生徒に統一した支援を行うため、学校からの一定距離以上の地区を対象にスクールバスを運行し、遠距離通学の解消と、より安全、安心な通学の確保を図る。

【事業の概要】  
 通学距離が一定の基準を超える通学者に対して、スクールバスの委託運行や路線バス利用料金の補助を行う。

区	区分
全年	学校からの距離で、概ね4.0km以上の地区
冬期間	(12月～2月)のみ3.0km以上の地区

※利用期間は4月～3月(8月は除く)

○委託料

・スクールバス運行  
 三国地区5台(通年・冬期)  
 丸岡地区4台(通年・冬期)  
 春江地区3台(冬期)  
 坂井地区3台(通年・冬期)

44,311 千円

○補助金(通学バス運行支援事業補助金)丸岡南中学校区

3,070 千円

【事業の成果と改善点等】

通学距離が一定の基準を超える生徒を対象者に、スクールバスの委託運行や通学費の補助を行うことにより、遠距離通学の解消と安全、安心な通学を確保することができた。  
 また、地域からの要望により、地域団体が主体的に取り組み通学バス運行についての経費支援について、通学バス運行支援事業補助金を創設し交付を行った。

【事業の実績等】

	H28実績	H27実績	増減
バス利用者数	638人	660人	△22人

予 算 款	10 教育費	項 04 幼稚園費	目 01 幼稚園総務費	決 算 書 P. 203
大事業	251 幼稚園通学支援事業	所管 教育委員会事務局 部局 学校教育課		
中事業	01 幼稚園通学支援事業	不 用 額		
予算額	当初	107 千円	43 千円	64 千円
前年度		39 千円	38 千円	1 千円
主な 特定 財源				千円 千円 千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】  
市内の小学校併設幼稚園に通園する園児に支援を行うため、幼稚園からの一定距離以上の地区を対象に路線バス利用料金の補助を行い、遠距離通学の解消と、より安全、安心な通園を確保することを目的とする。

【事業の概要】

幼稚園児の登下校は保護者の送迎が原則であるが、5歳児は保護者の同意の下、集団登校が認められていることから、通学距離が概ね1.5km以上の地区の2名の園児に対して、路線バス利用料金の補助を行う。

○補助金（通学費補助金 三国地区）

43 千円

【事業の成果と改善点等】

通園距離が一定距離以上の地区の5歳児を対象者に、通学費の補助を行うことにより、安全で安心な通学手段を確保することができた。

【事業の目標値と実績等】

目標値	H28実績
4回	3回

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 04 学校給食費	決 算 書 P. 225
大事業	051 学校給食管理事業	所管 教育委員会事務局 部局 学校教育課		
中事業	01 学校給食管理事業	不 用 額		
予算額	当初 補4号	74,456 千円	72,767 千円	1,689 千円
前年度		67,825 千円	63,157 千円	4,668 千円
主な 特定 財源		電源立地地域対策交付金		4,700 千円 千円 千円
予算流用(増減)額		△ 1,845 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】

○賞金

丸岡地区自校調理場調理師 9名

三国学校給食センター調理師 13名

春江坂井学校給食センター調理師 28名

○報償費

学校給食従事職員研修会 講師謝礼 10 千円

地産地消推進検討委員会 委員謝礼 39 千円

料理講習会用材料費 90 千円

地産地消推進検討委員会飲み物代 2 千円

○委託料

三国学校給食センター基本概要業務委託 (協同組合 福井県建築設計監理協会) 324 千円

【事業の成果と改善点等】

丸岡自校式や三国、春江坂井学校給食センターにおける給食提供にあたっては、安全で安心な給食の提供のため、臨時職員の確保等、安定した調理体制の確立を図った。また、管理栄養士や給食調理員を対象とした研修を実施し、衛生管理等の向上に努めた。さらに、地産地消を推進するために、市の農産所管課と農業関連団体、地元生産者による地産地消推進検討委員会を関係した。今後も、継続して協議を進めていく。老朽化した三国学校給食センターの整備に備え、プロポーザル実施等に向けた基礎資料として、基本概要の作成を委託した。

【事業の目標値と実績等】

目標値	H28実績
4回	3回



予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 04 学校給食費	決 算 書
大事業	051 学校給食管理事業			P. 227
中事業	16 丸岡学校給食管理事業			教育委員会事務局 学校給食課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額	
	239,623 千円	234,383 千円	5,240 千円	
前年度	239,889 千円	229,945 千円	9,944 千円	
主な	収入 (小学校給食負担金)		99,504 千円	
特定	収入 (中学校給食負担金)		60,969 千円	
財源	収入 (厨房設備使用料他)		2,637 千円	
予算減額(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円	
【事業の目的】 「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。				
【事業の概要】 ◆丸岡学校給食管理事業 本庁 5,277 千円 ○旅費 6 千円 ○需用費 436 千円 修繕料 (給食用器具等修繕料) 914 千円 ○役務費 265 千円 食材検査手数料 50 千円 調理師等腸内細菌検査手数料 363 千円 調理場内害虫駆除委託料 721 千円 ○備品購入費 2,522 千円				
◆丸岡学校給食管理事業 丸岡 229,106 千円 5校2園 (平章小・長畝小・高椋小・磯部小・明章小・高椋幼・磯部幼) ○需用費 1,458 千円 消耗品費 (給食用消耗品費他) 7,415 千円 光熱水費 (ガス) 96,110 千円 賄材料費 (給食材料費及び牛乳代)				
【次頁へ】				

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 04 学校給食費	決 算 書
大事業	051 学校給食管理事業			P. 227
中事業	16 丸岡学校給食管理事業			教育委員会事務局 学校給食課
…【前頁より】				
3校 (丸岡中・丸岡南中・鳴鹿小) 86 千円				
○需用費 消耗品費 (給食用消耗品費) 11,393 千円				
賄材料費 (給食材料費及び牛乳代) 112,644 千円				
○委託料 学校給食調理業務等委託料 13,142 千円				
・Cネットふくい委託分 (鳴鹿小) 44,842 千円				
・Cネットふくい委託分 (丸岡南中) 54,660 千円				
・(有)ランチサービス委託分 (丸岡中)				
給食の状況				
			給食人員 (日)	給食延数
			3,187人	622,320食
【事業の成果と改善点等】 丸岡の学校給食については、自校式および調理業務委託により実施し、学校給食衛生管理基準に基づき適正な衛生管理に努めた。 また、給食の食材確保については、地元業者や地産産を中心とした安全・安心な食材の購入を基本に、おいしく栄養バランスのとれた学校給食の提供を図った。 今後も管理栄養士が中心となり、新鮮で安全な食材の質と量の供給体制について検討し、地産産食材使用率の向上に努める。				
【事業の実績等】				
			地産産 (県産) 食材 使用率 (実績)	H28 54.4% H27 56.8%

予算款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	04 学校給食費
大事業	051 学校給食管理事業				決算書 P. 225 所管 教育部局 教育委員会事務局 三国学校給食センター
中事業	06 三国学校給食管理事業				
予算額		決算額		不用額	
前年度	150,483 千円	147,367 千円		3,116 千円	
主な収入	雑入 (小学校給食負担金)	60,584 千円			
特定収入	雑入 (中学校給食負担金)	32,999 千円			
財源	雑入 (幼保園給食負担金)	2,165 千円			
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円		
【事業の目的】 「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。					
【事業の概要】 中学校1校(三国)、小学校6校(三国南・三国北・雄島・加戸・三国西・木部) 総計7施設の給食を提供する。 その他、幼保園5園(みくに未来・宿・安島・加戸・三国南)についても福祉予算(保育園費)にて提供している。					
○需用費 消耗品費 118,757 千円 燃料費、光熱水費 2,915 千円 修繕料 17,102 千円 賄材料費 3,132 千円 95,608 千円					
給食の状況					
		給食人員	2,326人	給食延数	460,309食
○役員費 792 千円					
通信運搬費 154 千円					
手数料 606 千円					
火災保険料 18 千円					
自動車保険料 14 千円					
○委託料 16,577 千円					
給食配送業務委託料 15,373 千円					
ボイラー保守点検委託料 302 千円					
警備保障委託料 203 千円					
【次頁へ】					

予算款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	04 学校給食費
大事業	051 学校給食管理事業				決算書 P. 225 所管 教育部局 教育委員会事務局 三国学校給食センター
中事業	06 三国学校給食管理事業				
…【前頁より】					
害虫駆除委託料 173 千円					
電気工作物保守点検委託料 162 千円					
地下タンク定期検査委託料 103 千円					
受水管理委託料 103 千円					
栄養管理システム保守委託料 77 千円					
コピー機保守点検委託料 54 千円					
消防設備保守点検委託料 27 千円					
○使用料及び賃借料 70 千円					
CATV利用料 34 千円					
電算機器借上料 22 千円					
放送受信料 14 千円					
○工事請負費 10,962 千円					
アレルギー対応調理室増設工事費					
○備品購入費 206 千円					
施設用備品購入費 6 千円					
給食用備品購入費 200 千円					
○負担金 3 千円					
学校給食センター連絡協議会負担金					
【事業の成果と改善点等】 地場産を中心とした安全・安心な食材の購入を基本に、美味しく栄養バランスのとれた学校給食の提供に努めた。農業関連団体、地元生産者等と連携し、質と量の供給体制、栽培契約の実施などにより安定した納品が見込め使用率の向上につながった。今後も、常に生産状況等についての情報収集を行い使用時期を見極め、積極的に食育及び地産地消に取り組んでいく。					
【事業の実績等】					
		H28	%	H27	
		地場産(県産)食材			
		使用率(実績)	61.5 %		52.2 %

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 04 学校給食費	決 算 書 P. 225 教育委員会事務局 春江坂井学校給食センター
大 事 業	051 学校給食管理事業			
中 事 業	11 春江坂井学校給食センター管理事業			
予 算 額	当初	決 算 額	不 用 額	
	273,141 千円	268,694 千円	4,447 千円	
前 年 度	278,408 千円	271,436 千円	6,972 千円	
主 な 特 定 財 源	雑入 (小学校給食員負担金)	120,338 千円		
	雑入 (中学校給食員負担金)	69,486 千円		
	雑入 (幼保園給食員負担金他)	2,470 千円		
予 算 流 用 額	1,845 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円	
【事業の目的】 「園児、児童、生徒が生涯を通して健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣、食に関する指導の充実を図る。				
【事業の概要】 中学校2校 (春江・坂井)、小学校7校 (春江・春江西・大石・春江東・東十郷大関・兵庫)、幼保園2園 (春江・春江東)、計11校に給食を提供する。				
○ 需用費	消耗品費	4,582千円	235,928千円	
	燃料費	34千円		
	光熱水費	33,755千円		
	修繕費	646千円		
	賄材料費	196,911千円		
	給食の状況	給食人員	給食延数	
		3,928人	740,973食	
○ 役員費	通信運搬費	196千円	1,315千円	
	手数料	1,028千円		
	火災保険料	47千円		
	自動車保険料	44千円		

【次頁へ】

予 算 款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 04 学校給食費	決 算 書 P. 225 教育委員会事務局 春江坂井学校給食センター
大 事 業	051 学校給食管理事業			
中 事 業	11 春江坂井学校給食センター管理事業			
… 【前頁より】				
○ 委託料	工レバーター保守点検委託料	648千円	31,036千円	
	書虫駆除委託料	226千円		
	整備保障委託料	45千円		
	施設管理委託料	455千円		
	施設保守点検委託料	5,022千円		
	受水槽管理委託料	216千円		
	消防設備保守点検委託料	896千円		
	電気工作物保守点検委託料	588千円		
	電算機器保守点検委託料	78千円		
	配送業務委託料	20,196千円		
	一般廃棄物収集委託料	143千円		
	ポイラー保守点検委託料	679千円		
	シルバー人材センター調理員業務委託料	1,844千円		
○ 使用料及び賃借料	使用料及び賃借料	14千円	83千円	
	放送受信料	69千円		
○ テマンド監視システム使用料	テマンド監視システム使用料	14千円	318千円	
○ 備品購入費	備品購入費	184千円		
	施設用備品購入費	134千円		
○ 給食用備品購入費	給食用備品購入費		5千円	
○ 負担金	負担金		9千円	
○ 学校給食センター連絡協議会負担金	学校給食センター連絡協議会負担金			
○ 公課費	自動車重量税			
【事業の成果と改善点等】 地場産を中心とした安全・安心な食材の購入を基本に、美味しく栄養バランスのとれた学校給食の提供に努めた。今後も、市担当者や農業関連業者、地元生産者等と連携しながら、地場産食材の使用率向上につなげるよう、新鮮で安全な食材の供給体制について継続的に検討していく。				
【事業の実績等】				
地場産 (県産) 食材		H28	H27	
使用率 (実績)		57.6 %	41.2 %	

予算款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 01 社会教育総務費
大事業	051 社会教育事業		決算書 P. 203
中事業	01 社会教育事務事業		所管 部局
予算額	当初	決算額	不用額
前年度	10,578 千円	10,506 千円	72 千円
主な 特定 財源	8,883 千円 人権問題社会教育指導員設置補助金	8,542 千円	341 千円
予算流用(増減)額		130 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】  
社会教育法に基づき、社会教育委員は、社会教育行政全般について、調査及び審議を通じて啓発・建議を行うとともに、社会教育指導員を各地区に置くことで、地域の課題や市民の要望を反映した社会教育の振興を図る。また、生涯学習講演会を開催し、地域の活性化を図る。

【事業の概要】

社会教育法に基づく社会教育委員の設置・運営

- 報酬 510千円
- 賞金 8,907千円
- 旅費 80千円
- 需用費 122千円
- 事務用消耗品費 7千円
- 食糧費 4千円
- 印刷製本費 111千円
- 委託料 講演会業務委託 (株)バケット・デス 799千円
- 使用料及び賃借料 有料道路通行料 7千円
- 負担金 81千円
- 県社会教育委員連絡協議会負担金 39千円
- 東海北陸社会教育研究大会負担金 27千円
- 県社会教育連絡協議会費 15千円

【事業の成果と改善点等】

社会教育委員の会議を3回開催し、地区、県開催の各研修会へ参加した。この他、合宿型事業の実行委員として事業視察を行い、子ども会壁新聞コンクールの審査や、青少年健全育成推進大会、心の教育講演会等の参加などの活動を行った。社会教育指導員を各地区に配置し、地域の課題や市民の要望を反映した社会教育の振興を図っている。また、生涯学習講演会はお笑い芸人のゴルゴ松本氏による「命の授業」と題した講演会を開催し、親子での聴講など多くの参加があり盛況を得た。

予算款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 01 社会教育総務費
大事業	051 社会教育事業		決算書 P. 205
中事業	06 社会教育団体補助事業		所管 部局
予算額	当初	決算額	不用額
前年度	1,810 千円	1,810 千円	0 千円
主な 特定 財源	1,980 千円	1,910 千円	70 千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】  
補助金の交付により社会教育団体の育成と活動の促進を図る。

【事業の概要】

- 補助金 1,810千円
- 坂井市PTA連合会事業補助金 250千円
- 青少年育成団体運営補助金 210千円
- ・ポニースカウト第5団 70千円
- ・ガールスカウト第17回 70千円
- ・ガールスカウト第20回 70千円
- 坂井市かるた協会事業補助金 350千円
- 坂井市女性の会運営補助金 1,000千円

【事業の成果と改善点等】

地域社会の活力向上や、社会教育活動を通じた市民の交流、青少年の健全育成等を行う社会教育団体の活動・運営の育成を行った。各団体には、会費収入等自己財源の確保と補助金依存割合の適正化を促しており、坂井市女性の会については、平成25年度より補助金を段階的に見直ししている。また、ポニースカウト第6回は平成26年度から団員の減少による活動の縮小により補助金は辞退している。

予算	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	決算書
大事業	151	市民運動推進事業					P. 205
中事業	01	市民運動推進事業					所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初		決算額		不用額		
前年度		399千円		399千円		0千円	
主な 特定 財源		399千円		399千円		0千円	
予算	流用(増減)額			0千円		予備費充用額	0千円

【事業の目的】  
市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。

【事業の概要】

○負担金 399千円  
坂井市民運動推進協議会負担金 204千円  
あすの福井県を創る協会負担金 195千円

第11回坂井市花壇コンクール  
審査日 9月26日(月) 三国地区 丸岡地区  
9月27日(火) 春江地区 9月28日(水) 坂井地区  
場所 市内の花壇  
参加数 67地区団体

坂井市ふるさとづくり大会  
期日 12月8日(木)  
場所 たかむく古城ホール  
内容 坂井市市民運動実践者表彰  
記念講演

【事業の成果と改善点等】

花壇コンクールでは、福井あわせ元気団体の花でのおもてなしに向け、各団体が30年の団体日程に合わせ花の育成を調整できるよう審査日程を1か月遅らせ開催した。坂井市民運動推進協議会による「坂井市ふるさとづくり大会」を開催し、より一層豊かで明るく、住みよくなるまちづくりを目指して市民運動への意識向上と推進を図った。

予算	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	決算書
大事業	001	公民館管理運営事業					P. 205
中事業	01	公民館管理運営事業					所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初		決算額		不用額		
前年度		7,089千円		7,009千円		80千円	
主な 特定 財源		1,427千円		1,415千円		12千円	
		雑入(地区集会場土地借上料負担金)				18千円	
予算	流用(増減)額			△90千円		予備費充用額	0千円

【事業の目的】  
県公民館連絡協議会に加盟し、コミュニティセンター職員及び社会教育関係者の研修機会の充実及び質、能力の向上を図る。

【事業の概要】

○需用費 2,962千円  
書籍購入費(月刊公民館) 7千円  
たつみ町内公民館修繕工事 2,955千円  
○役務費 73千円  
○使用料及び賃借料 97千円  
○工事請負費 3,132千円  
○負担金 745千円  
県公民館セミナー参加費 132千円  
県公民館入会参加費 56千円  
県公民館連合会市町村負担金 557千円

【事業の成果と改善点等】

コミュニティセンターでの社会教育事業推進についてセンター職員の社会教育関係の研修機会を設けるため、引吉郷公民館連合会に加盟している。なお、公民館管理運営事業予算については平成29年度よりまちづくり推進課へ移管となるが、今後コミュニティセンターでの社会教育事業を実施することから、関係課等と連携を持ちながら事業を推進していく。

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 国際交流推進費
事業	001 国際交流推進事業	決算書 P. 205			
中事業	06 国際交流派遣事業	所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課			
予算額	当初 補4号	決算額	不 用 額		
前年度	9,683 千円	8,215 千円	1,468 千円		
主な 特定 財源	収入(海外派遣事業参加者負担金) 地方創生推進交付金	9,758 千円	47 千円		
5,000 千円 1,516 千円					
予算流用(増減)額		48 千円	予備費充用額	0 千円	

【事業の目的】  
国際理解教育の一環として、坂井市内の中学校の生徒を英国に派遣し、ホームステイ、国際参加、日本文化紹介(英語)を通して外国の生活を体験することにより、国際化時代に対応できる青少年を育成する。また、成果を壁新聞等で各中学校に掲示し、体験の共有化を図る。

【事業の概要】  
〈派遣期間〉 平成29年3月8日(水)~17日(金) 10日間  
〈派遣先〉 英国ウェールズカーディフ市  
ハース、オックスフォードおよびロンドン  
〈派遣人数〉 生徒 25人(男子11人、女子14人) 引率者 5人  
(市内在住で市内中学校の2年生に在学する生徒)

- 報償費 145千円
- 選考委員謝礼(3名) 50千円
- 交流先記念品 47千円
- 事前研修講師謝礼(12名) 48千円
- 旅費 184千円
- 引率者旅費(5名) 187千円
- 需用費
- 消耗品費 111千円
- 食糧費 59千円
- 印刷製本費 17千円
- 役務費 47千円
- 通信運搬費(英国派遣事業アンケート) 7,600千円
- 委託料
- 英国派遣事業運営委託料 (近畿日本ツーリスト株式会社) 52千円
- 使用料及び賃借料 事前研修修繕賃借料

【事業の成果と改善点等】  
英国派遣までの約半年間、ホームステイ体験に向けた事前研修を行い、英語のコミュニケーション能力の向上に努めた。現地でのホームステイや授業参加等を通して英国生徒との交流はもろろん、異文化に触れる貴重な経験を積むことで、国際的な感覚を身に付けることができた。

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	04 国際交流推進費
事業	001 国際交流推進事業	決算書 P. 207			
中事業	11 国際交流招聘事業	所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課			
予算額	当初	決算額	不 用 額		
前年度	1,687 千円	1,464 千円	223 千円		
主な 特定 財源		1,523 千円	12 千円		
予算流用(増減)額		△48 千円	予備費充用額	0 千円	

【事業の目的】  
国際社会を生きる児童・生徒の資質向上を目指し、英国の交流先であるカーディフ市の国際社会を招聘し、ホストファミリー等の体験を通して、市民の国際理解を進める。また、英国生徒が市内中学校の授業や交流会に参加することにより、市内中学生の国際的な視野を広める。

【事業の概要】  
〈招聘期間〉 平成28年6月29日(水)~7月7日(木) 9日間  
〈招聘人数〉 生徒 25人(男子13人、女子12人) 引率者 4人  
(プラスマウルコンプリハンススクール)

- 需用費 219千円
- 消耗品費 69千円
- 食糧費 150千円
- 役務費 3千円
- 通信運搬費(エアメール用切手代 手紙の館)
- 委託料 1,230千円
- 英国招へい事業運営委託料 (名鉄観光サービス株式会社)
- 使用料及び賃借料 12千円
- 永平寺観覧料

【事業の成果と改善点等】  
市内中学校(夙所、丸岡南中学校)での趣向を凝らした交流会や授業参加を通じて、より多くの生徒が英国生徒と触れ合うことで、国際的な視野を広めることができた。また、ホストファミリーを中心に異文化交流を図ることで、国際理解教育を進めることができた。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 05 青少年健全育成費
大事業	001 青少年健全育成事業		決 算 書 P. 207
中事業	01 子ども会育成事業		所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額
	2,141 千円	2,139 千円	2 千円
前年度	2,141 千円	2,138 千円	3 千円
主な 特定 財源			千円 千円 千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】  
幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材の育成を行う。

【事業の概要】  
○負担金  
福井県子ども会育成連合会負担金 155千円  
坂井地区子ども会育成連絡協議会負担金 65千円  
90千円  
○補助金  
坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金 1,984千円  
1,984千円

【事業の成果と改善点等】  
青少年のリーダーとなる人材の育成を行うことを目的に、坂井市子ども会育成連絡協議会を事業主体として、子ども会活動の支援や組織の育成を図った。今後も継続して研修を行い、子ども会活動の活性化を推進していく。また、今年度より、子ども会の役員経験者で構成する『組織運営部会』を新たに立ち上げ、事業の在り方や会そのものの在り方など、今後の子ども会活動を盛り立てていくような組織づくりに取り組んだ。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 05 青少年健全育成費
大事業	001 青少年健全育成事業		決 算 書 P. 207
中事業	06 成人式事業		所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	決 算 額	不 用 額
	1,419 千円	1,323 千円	96 千円
前年度	1,419 千円	1,298 千円	121 千円
主な 特定 財源			千円 千円 千円
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額 0 千円

【事業の目的】  
新成人の門出を祝福するとともに、一人ひとりが成人したことを自覚し、これから社会の中で自主的・協力的に行動するよう激励する。

【事業の概要】  
〈期 日〉 平成29年1月8日(日) 午後1時30分～  
〈会 場〉 ハートピア春江  
〈対象者〉 新成人1,142人  
〈参加者〉 新成人925名(男性484人、女性441人 出席率80.9%)

○報償費  
成人式実行委員等謝礼(14名) 70千円  
成人式協力者謝礼 30千円  
記念品等(アル/△) 745千円  
○需用費 156千円  
消耗品費 79千円  
食糧費 31千円  
印刷製本費 46千円  
○役務費 180千円  
○使用料及び賃借料 会場使用料 142千円  
通信運搬費

【事業の成果と改善点等】  
参加した新成人一人ひとりが成人したことを自覚するとともに、今回のテーマである「トビラ」に込めた、次の自分に出会う新たな未来へのトビラを開こう!と、決意を新たにするきっかけとなった。

【事業の実績等】

成人式出席率	平成28年度 80.9%	平成27年度 81.6%
--------	--------------	--------------

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業		決算書		P. 207			
中事業	11	わんぱく少年団事業		所管	教育局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課		
予算額	当初	決算額		不用額					
前年度		385千円		318千円		67千円			
主な	特定	385千円		322千円		63千円			
収入	財源	雑入(わんぱく少年団参加者負担金)				69千円			
予算	流用(増減)額	0千円		予備費充用額		0千円			

【事業の目的】  
 自然の中で行う様々な体験を通じて、仲間との協力の大切さを学ぶとともに自立心の向上を図り、人との関わりや今後の人生をより豊かに過ごせるような積極性を身につけるとを目的とする。

【事業の概要】  
 〈名称〉 「2016 SAKAIわんぱく少年団」  
 〈対象者〉 坂井市内小学校5・6年生23人  
 〈実施期間〉 学校週休日・夏休み(6月～3月)  
 〈実施回数〉 12回  
 〈実施内容〉 結団式、スノーケリング体験、カヌー体験、サマーキャンプ、どろんこ運動会、ウォークラリー、トレッキング、古代人体験、ティスクゴルフ、カンタケ栽培、ウエントナーキャンプ、修了式  
 協力者謝礼(山の会)  
 ○報償費 30千円  
 ○需用費 228千円  
   消耗品費 65千円  
   食糧費 163千円  
 ○役員費 19千円  
 ○使用料 41千円  
   傷害保険料  
   施設使用料等

【事業の成果と改善点等】  
 坂井市の豊かな自然を、あらゆる体験活動を通して、触れ合うことで、子どもたちの心回さず、計12回の自然体験活動を企画・実施したが、参加児童は、定員を下回る結果となった。これは、昨今、スポーツ少年団や習い事など子どもの多忙化も一つの要因と考えられる。今後は、子どもたちが参加できるように実施時期の調整や参加したくなるような魅力ある活動の実施に努めていく。さらに、この事業にシニアリーダーが関わること

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業		決算書		P. 207			
中事業	16	青少年育成坂井市民会議事業		所管	教育局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課		
予算額	当初	補1号		決算額		不用額			
前年度		3,126千円		3,126千円		0千円			
主な	特定	2,126千円		2,126千円		0千円			
収入	財源	総務費雑入(コミュニティ助成)				1,000千円			
予算	流用(増減)額	0千円		予備費充用額		0千円			

【事業の目的】  
 青少年問題の重要性に鑑み、広く市民の総意を結集して「青少年育成坂井市民会議」を組織し、次代を担う青少年の健全な育成を図る。

【事業の概要】  
 青少年育成坂井市民会議の主な活動

期日	事業名	場所
5月27日(金)	青少年育成坂井市民会議総会	たかむく古誠ホール
7月2日(土)	非行防止一斉キャンパーン	PLANT-2、三園一ザ
9月26日(月)	10周年記念「心の教育講演会」	ハートピア春江大ホール
9月29日(木)	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～30日(金)	丸岡南中学校
11月6日(日)	一斉街頭啓発キャンパーン	丸岡ピアゴ、春江アミ
11月16日(水)	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～18日(金)	丸岡中学校
11月26日(土)	坂井市青少年健全育成推進大会	たかむく古誠ホール

○補助金 3,126千円  
 青少年育成坂井市民会議運営補助金 2,126千円  
 コミュニティ助成事業補助金(青少年育成事業) 1,000千円

【事業の成果と改善点等】  
 青少年が健全に成長していくための環境づくりや、青少年の健全な心を育てることに貢献することができた。また、昨年度から実施している青少年育成活動への参加促進の支援を目的とした、命の教育「赤ちゃん抱っこ体験学習」を11月の推進大会時に発表すること、市民への周知と理解を図った。  
 今年度は、市制100周年を記念し、教育評論家の「尾木ママ」こと尾木直樹氏を講師に招き「心の教育講演会」を実施し、多くの市民が参加・聴講した。



予算	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業				決算書 P. 207
中事業	21	放課後子ども教室推進事業				所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	決算額	不用額			
		4,000 千円	3,976 千円	24 千円		
前年度		4,000 千円	3,937 千円	63 千円		
主な 特定 財源		県支出金	放課後子どもプラン事業補助金	2,484 千円		
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円		

【事業の目的】  
コミュニティセンター等で、様々な放課後子ども教室を実施し、子どもたちに安全な居場所や学習・体験活動の機会を提供する。

【事業の概要】

主にコミュニティセンターで、学習アドバイザーや安全管理員など、学校・家庭・地域の連携協力推進事業の一部として、地域の方々の協力を得て実施。各地域の実情に合わせながら、書道や絵画、読書感想文教室など長期休暇の宿題を中心とした教室を開催したり、生け花教室、三味線教室、コーラス教室など定期的に教室を開催したりするなど、子ども達の安全な居場所の確保に努めた。

○委託料

放課後子ども教室実施委託料  
(24教室)

3,976千円

【事業の成果と改善点等】

地域のボランティアの協力を得て、地域の実情に応じた様々な体験・活動を行うことにより、安全・安心な子ども活動拠点を設けることができた。今後は、家庭教育支援子ども連携しながら、更に活動の幅を広げていきたい。

予算	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	05 青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業				決算書 P. 207
中事業	26	合宿通学事業				所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	補4号	決算額	不用額		
			1,600 千円	986 千円	614 千円	
前年度			1,356 千円	1,312 千円	44 千円	
主な 特定 財源		国庫支出金	地方創生推進交付金	242 千円		
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円		

【事業の目的】  
コミュニティセンター等の公共施設に3泊4日（または2泊3日）で宿泊し、自分の身の回りのことはすべて自分で行いながら学校に通学することにより、日常生活における家族の苦労や、愛情の深さに気づき、感謝する気持ちを育てる。

【事業の概要】

期 間	場 所	対象者	参加人数
6月2日(木)～4日(土)	香江西コミセン	香江小学校5年生	42名
6月9日(木)～11日(土)	のうねの郷コミセン	長畝小学校4年生	34名
10月6日(木)～8日(土)	大関コミセン	大関小学校4年生	25名
10月19日(水)～22日(土)	三國コミセン	三國小学校6年生	26名
合 計			127名

○委託料

合宿通学事業業務委託料

986千円

【事業の成果と改善点等】

家庭を離れて、長期間の宿泊を伴う日常生活体験は、学校教育では得られない大変貴重な体験であり、事業目的に沿った効果が得られた。また、地域住民がボランティアとして関わることで、地域でのつながりが希薄になりつつある今日、地域と子どもたちとの結びつきが強くくなった。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 05 青少年健全育成費	決 算 書
大 事 業	001 青少年健全育成事業			P. 207
中 事 業	31 坂井・延岡ジュニア交流事業			所管 教育委員会事務局 部局 生涯学習スポーツ課
予 算 額	当初	決 算 額	不 用 額	
前年度	495 千円	460 千円	35 千円	
主 な 特 定 財 源	1,357 千円	1,208 千円	149 千円	
予 算 流 用 (増減) 額	0 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円	

【事業の目的】  
 宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学校児童を対象に両市の名所旧跡を学習することを通じて人的交流を図っていく中で、将来的に両市の縁を強めていくことを目的とする。

【事業の概要】  
 1年ごとに坂井市と延岡市を相互に訪問し交流を行っている。今年度は延岡市の小学生を招聘し、竹田農山村交流センターちくちくほんほんにおいて、坂井市の小学生と交流した。  
 〈期 間〉平成28年8月3日(火)～5日(木) 3日間  
 〈参加者〉坂井市内小学5・6年生28名、市P連2名、事務局3名  
 延岡市内小学5・6年生19名、市P連2名、事務局2名

- 報償費 (記念品) 25千円
- 需用費 368千円
  - 消耗品費 155千円
  - 食糧費 213千円
- 役務費 22千円
  - 通信運搬費 1千円
  - 障害保険料 21千円
- 使用料 45千円
  - 施設使用料 (東郷坊観光遊覧船、恐竜博物館)

【事業の成果と改善点等】  
 今年度は招聘として初めて、延岡市との交流前に、事前研修を実施し交流に臨んだこと、市内の児童間での団結が芽生え、延岡市児童に対し積極的に関わることがみられた。別際には手紙のやり取りを約束するなど、子どもたちの中では確かに交流が続いている様子を感じ取ることができた。

予 算 款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 05 青少年健全育成費	決 算 書
大 事 業	051 心の家庭教育支援事業			P. 209
中 事 業	01 心の家庭教育支援事業			所管 教育委員会事務局 部局 生涯学習スポーツ課
予 算 額	当初	決 算 額	不 用 額	
前年度	1,356 千円	1,076 千円	280 千円	
主 な 特 定 財 源	1,429 千円	1,108 千円	321 千円	
予 算 流 用 (増減) 額	△ 40 千円	予 備 費 充 用 額	0 千円	

【事業の目的】  
 家庭教育力の向上を図るため、現在子育て中の親が子育てに関する情報や学習機会を得られるよう支援体制を作り、地域全体で家庭教育を支えていく基盤の形成を促進する。

【事業の概要】  
 ・子育て講座  
 小学校を中心に多くの親が集まる機会(就学時検診時等)を活用して、家庭教育に関する学習機会を提供した。(1校)  
 ・家庭教育支援チーム  
 元教員、元保育士・子育て経験者などで坂井市家庭教育支援チームを結成し、小学生などの子どもを持つ親(家庭)の心の教育と支援を行った。  
 ・広報誌の発行  
 子育てに関する情報やアドバイスなどを掲載した広報誌「ほやほや」を年4回で発行した。

- 報償費 999千円
  - 子育て講座講師謝礼 10千円
  - 家庭教育支援チーム員手当 989千円
- 需用費 53千円
  - 消耗品費 45千円
  - 食糧費 8千円
- 役務費 24千円
  - 家庭教育支援チーム員傷害保険料

【事業の成果と改善点等】  
 各地区ごとに家庭教育支援チームが実施する市内小学校への訪問は、子どもたちとの信頼関係も確立しつつあり、支援チームの訪問を心待ちにしている児童も数多くいる。また、保護者対象には、コミュニケーションや学校行事に併せた相談会を実施するなどして、子育てに関するアドバイスなど支援に取り組んだ。今後、子どもたちの成長の支えとなれるよう、積極的に活動を進めていきたい。

予算	款	項	目	教育費	05	社会教育費	06	青少年愛護センター費	決算書
大事業	001	愛護センター事業							P. 209
所管	部局								教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
中事業	01	愛護センター事業							
予算額	当初	補3号 補4号	決算額						不 用 額
前年度			11,678 千円	10,863 千円				815 千円	
主な	支出金	青少年愛護センター運営費補助金						449 千円	
特定	繰入金	寄附市民参画基金繰入金						384 千円	
財源								1,090 千円	
予算流用(増減)額			0 千円	予備費充用額				0 千円	

【事業の目的】  
青少年の健全な育成を阻害するおそれのある行為を防止することによって、青少年の健全育成を図る。

【事業の概要】

- 賞金 7,527千円
- 報償費 1,141千円
- 需用費 1,694千円
- 賃金 1,122千円
- 燃料費 252千円
- 食糧費 48千円
- 印刷製本費 207千円
- 修繕料 65千円
- 役員費 107千円
- 通信運搬費 22千円
- 手数料 29千円
- 自動車保険料 56千円
- 委託料 249千円
- エンゼルロード警備保障委託 188千円
- コピー機リース料 61千円
- 賃借料 123千円
- 負担金 14千円
- 公課費 8千円

【事業の成果と改善点等】  
今年度も一般補導員との協働により各自治区懇談会や合同巡回街頭補導を実施した。今後さらに各関係機関と連携した補導体制の充実を図っていく。また、坂井市寄附市民参画基金の政策メニュー「子ども健全育成及び教育に関する事業」への取り組みとして、『子ども110番の家』の看板・リーフレットを作成し、市内の関係各所に配布、設置した。

予算	款	項	目	教育費	10	保健体育費	06	保健体育費	01	保健体育総務費
大事業	051	スポーツ推進委員運営事業								決算書
所管	部局									P. 221
中事業	01	スポーツ推進委員運営事業								教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初		決算額							不 用 額
前年度			2,834 千円	2,689 千円				145 千円		
主な	諸収入	繰入(大会参加料)						24 千円		
特定								57 千円		
財源								千円		
予算流用(増減)額			0 千円	予備費充用額				0 千円		

【事業の目的】  
スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力を行ない、市のスポーツ振興を図る。地域のスポーツの推進役として市民のスポーツニーズを把握し、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたり継続して行なうことが出来るようサポートする。

【事業の概要】

- 地域内のスポーツの推進役として地域住民のスポーツニーズを把握し必要な取り組みを行なった。また、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたり継続して行なうことが出来るようサポートした。
- ・派遣指導(マリントレーニングの普及推進、出前ニュースポーツ講座) 29回/年
- ・ニュースポーツ教室 年22回/延べ530人
- ・ニュースポーツ大会 14人
- ・坂井市古城マラソン大会、坂井市民スポーツ祭他
- ・各種大会への協力
- ・会議等の開催
- 報酬 スポーツ推進員報酬(◎32千円×44人) 1,408千円
- 報償費 講師謝礼 10千円
- 旅費 費用弁償 104千円
- 需用費 全国スポーツ推進委員研究協議会(福井県鯖江市) 663千円
- 北陸地区スポーツ推進委員研修会(新潟県上越市) 79千円
- 消耗品費 定期刊行物購読料・啓発用消耗品費 10千円
- 役員費 傷害保険料 415千円
- 使用料及び賃借料 車両借上料・有料道路通行料
- 負担金 会議・研修会参加負担金
- 県スポーツ推進委員協議会負担金・講習会参加負担金

【事業の成果と改善点等】

ニュースポーツ教室・大会の企画運営をはじめ、市古城マラソン・市民スポーツ祭への協力、マリントレーニングの普及など、市民のスポーツによる健康づくりに貢献できた。特に、平成30年に開催される福井国体のアモスホ競技であるトッチャビの普及・指導に力を入れ

予算款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 01 保健体育総務費	決算書
大事業	101 保健体育事業			P. 221
中事業	01 保健体育事務事業			教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	決算額	不用額	
前年度	2,551千円	2,385千円	166千円	
主な特定財源	216千円	97千円	119千円	
予算流用(増減)額		2,277千円	予備費充用額	0千円

【事業の目的】  
スポーツ振興の充実を図るための事業を行う。スポーツ推進審議会では、スポーツ推進に関する重要事項について調査及び協議を通して建議を行う。  
また、各種協議会に対し負担金助成を行う。

【事業の概要】

- 賞金 臨時職員賞金（1名） 2,275千円
- 旅費 特別旅費（東京オリンピック事前キャンプ誘致活動） 102千円
- 負担金 県立武道館協議会負担金 4千円  
体育施設協会負担金 4千円

【事業の成果と改善点等】

スポーツ振興計画に基づき、保健体育事務事業を実施した。  
スポーツ振興審議会において、スポーツ振興計画の見直しを行う予定であったが、教育振興基本計画が延長されたことにより開催を見送った。2020年に開催されるオリンピック・パラリンピック東京大会の事前キャンプ地を誘致活動を進めていき、市民のスポーツへの関心を高め生涯スポーツの推進へと繋げていく。

予算款	10 教育費	項 06 保健体育費	目 01 保健体育総務費	決算書
大事業	151 国体推進事業			P. 221
中事業	01 国体推進事業			教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初	補3号 補4号	決算額	不用額
前年度	1,392,685千円	1,392,658千円	27千円	
主な特定財源	266,919千円	261,096千円	5,823千円	
予算流用(増減)額		42千円	予備費充用額	0千円

【事業の目的】  
平成30年に福井県で開催される福井しあわせ元気国体において、坂井市では、サッカー競技とバレーボール競技が開催されるが、本市を訪れる選手・役員をはじめ応援観戦される人々が十分満足する魅力あふれる大会となるよう、開催準備を円滑に進める。

【事業の概要】

- 役務費 申請手数料・検査手数料 63千円
- 委託料 監理委託料 12,740千円  
三國体育館耐震改修工事監理業務 7,020千円  
（株）木村建築事務所 1,724千円  
丸岡体育館耐震改修工事監理業務 3,996千円  
三國運動公園陸上競技場改修工事（建築）外監理業務 8千円  
（株）センボ一建築事務所 1,379,847千円  
有料道路通行料 52,542千円
- 使用料 丸岡体育館耐震改修工事（建築） 9,180千円  
三國運動公園競技場周辺樹木伐採工事 259,200千円  
三國運動公園陸上競技場改修工事（建築） 96,797千円  
三國運動公園多目的競技場改修工事（土木） 290,747千円  
三國運動公園多目的競技場改修工事（建築） 22,456千円  
三國運動公園多目的競技場改修工事（防球ネット） 57,240千円  
三國運動公園多目的競技場改修工事（電気） 55,057千円  
三國運動公園多目的競技場壁掛時計設置工事 300千円

【次頁へ】...

予算款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	決算書
大事業	151	国体推進事業				P. 221
中事業	01	国体推進事業				所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

…【前頁より】

三国体育館耐震改修工事（建築） 372,384千円  
 三国体育館耐震改修工事（電気） 108,540千円  
 三国体育館耐震改修工事（機械） 55,404千円

【事業の成果と改善点等】  
 福井しあわせ元気国体のサッカー競技会場となる三国運動公園多目的競技場人工芝改修及び三国運動公園陸上競技場の改修工事。また、バレーボール競技会場となる三国体育館の改修工事を実施した。今後も、国体開催に向けて、施設整備や備品の購入を進めていく必要がある。

予算款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育振興費	決算書
大事業	001	スポーツ振興事業				P. 221
中事業	01	スポーツ大会運営事業				所管 部局 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
予算額	当初		決算額		不	用額

前年度	9,611千円	9,313千円	298千円
繰入金	5,976千円	5,900千円	76千円
主な特定財源	まちづくり整備基金繰入金 (市制10周年記念・三国ポータル還元事業) わかまち健康づくり応援事業補助金		2,806千円 千円 12千円
予算流用(増減)額		0千円	予備費充用額 0千円

【事業の目的】

誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、市民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しめるよう推進するとともに、各種競技大会を支援することにより市のスポーツ振興を図る。

【事業の概要】

坂井市古城マラソン大会（坂井市制施行10周年記念） 6月5日（日）  
 ゲストランナー 間寛平、遠藤カレン  
 参加者数 4,727人  
 坂井市民スポーツ祭（坂井市制施行10周年記念） 10月10日（月・祝）  
 参加者数 5,109人  
 スポーツフェスタ・少年少女バレーボール教室  
 陸上キッズプレミアム教室

- 需用費
  - 消費品費（大会・行事用消耗品費） 60千円
  - 食糧費（行事等賄） 24千円
  - 役員費 傷害保険料 53千円
  - 委託料 スポーツ大会委託料 8,500千円
  - 坂井市民スポーツ大会
  - （公財）坂井市体育協会 3,500千円
  - 坂井市古城マラソン大会
  - （公財）坂井市体育協会 5,000千円
  - 補助金 676千円
  - 坂井市古城カップサッカー大会補助金 441千円
  - 坂井・奥越地区高等学校野球大会運営事業補助金 100千円
  - 広域スポーツ大会補助金 135千円

【事業の成果と改善点等】  
 各種大会を開催し、スポーツの振興を図ることができた。古城マラソン大会は、過去最多の参加数であった。市民スポーツ祭については種目競技大会だけではなく、交流を深める場や教室・体験型イベントを実施し市民のスポーツの普及や健康増進を図った。

予算款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育振興費	決算書
大事業	001	スポーツ振興事業			P. 223	
中事業	06	スポーツ振興事業			所管 教育委員会事務局 部局 生涯学習スポーツ課	
予算額	当初	決算額			不 用 額	
前年度	36,093 千円	36,022 千円			71 千円	
主な収入	繰入金	まちづくり整備基金繰入金 (市制10周年記念・三国ポータル還元事業) わがまち健康づくり応援事業補助金			253 千円 千円 76 千円	
特定財源	県支出金	605 千円			0 千円	
予算流用(増減)額		予備費充用額			0 千円	

【事業の目的】  
坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体に対し補助金を交付し、競技スポーツ・生涯スポーツの推進、また、スポーツによる青少年の健全育成を目的とする活動を支援する。また、予選を勝ち抜き、全国大会以上に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図る。

【事業の概要】

- 報償費 全国スポーツ大会出場奨励金 2,705千円
  - ・国体 28名
  - ・全国高等学校総合体育大会 53名
  - ・国際大会 24名
  - ・その他全国大会 297名
  - 計 402名 (77大会)
- 需用費 233千円
  - 事務用消耗品費 8千円
  - 巡回ラジオ体操 消耗品費 177千円
  - 巡回ラジオ体操 手ラジ印刷費 48千円
  - 使用料 イベント機器借上料 104千円
  - 負担金 1,200千円
  - クロカンマラソン大会負担金 1,200千円
  - 補助金 31,780千円
    - 坂井市体育協会補助金 26,780千円
    - 坂井市スポーツ少年団補助金 4,000千円
    - 地域密着型クラブチーム支援事業補助金 1,000千円

【事業の成果と改善点等】

各スポーツ振興団体の活動計画に沿った事業を実施した。国際大会、全国大会に出場する選手・監督に対し、奨励金を交付し、大会での活躍を激励することにより、競技スポーツの振興を図ることができた。補助金交付については今後も効果的で効果のある団体運営を推進し、自主運営力を高める必要がある。坂井市制施行10周年記念事業で特別巡回ラジオ体操・みんなの体操を霞ヶ城公園内あらい広場で開催し体操の普及を図った。

予算款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 体育施設費	決算書
大事業	001	体育施設管理事業			P. 223	
中事業	01	体育施設管理事業			所管 教育委員会事務局 部局 生涯学習スポーツ課	
予算額	当初	補1号	補4号	決算額		不 用 額
前年度	681,983 千円	677,274 千円			4,709 千円	
主な収入	使用料	学校体育施設使用料			2,317 千円	
特定財源	諸収入	雑入(三国運動公園野球場広告料)			2,394 千円	
財源	市債	合併特別事業債			1,026 千円	
予算流用(増減)額		△ 647 千円			予備費充用額 285,500 千円	

【事業の目的】  
スポーツ環境の整備充実のため、体育施設の適切な維持管理及び運営を促進し、施設の安全性の確保とスポーツ振興及び利用の推進を図る。

【事業の概要】

- 旅費 130千円
- 需用費 修繕料(体育施設修繕費) 116千円
- 役務費 手数料・火災保険料(公有建物共済分担金) 387千円
- 委託料 232,501千円
  - 学校開放事業等委託料 6,500千円
  - (公財)坂井市体育協会 179,829千円
  - 坂井市体育施設指定管理委託料 42,500千円
  - (公財)坂井市体育協会
  - 坂井市屋内温水プール・フィットネスセンター指定管理委託料 3,672千円
  - (アリアスポーツ(株)) 28,701千円
  - 三国運動公園管理センター改修工事監理業務 382,966千円
  - (株)木下設計
  - 使用料及び賃借料 土地借上料
  - 工事請負費 6,375千円
    - 体育施設整備工事費
    - 春江体育館屋根防水工事
    - 建物改修工事費 172,692千円
    - 三国運動公園健康管理センター改修工事(建築) 55,490千円
    - 三国運動公園健康管理センター改修工事(電気) 74,980千円
    - 三国運動公園健康管理センター改修工事(機械) 4,547千円
    - 三国運動公園給水管改修工事 13,999千円
    - 丸岡体育館外壁等補修工事 4,482千円
    - 三国運動公園法面樹木伐採工事 10,365千円
    - 三国運動公園高圧ケーブル更新工事 他
    - 駐車場整備工事費 40,036千円
    - 丸岡スポーツランド駐車場敷地造成工事 [次頁へ] ...

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費	決算書
大事業	001	体育施設管理事業						P. 223		教育委員会事務局
中事業	03	体育施設管理事業						生涯学習スポーツ課		所管 部局

…【前頁より】

- 公有財産購入 春江B&G海洋センター用地 (2,760.17㎡) 22,358千円
- 負担金 9,768千円
  - 下水道受益者負担金 1,095千円
  - B&G地域海洋センター連絡協議会負担金 20千円
  - 指定管理者修繕料負担金 7,050千円
  - 農地転用清算金 1,603千円

- 補償金 247千円 体育施設周辺補償費
- 寄附金 100千円

【事業の成果と改善点等】

各体育施設について、適時修繕を行うなど適正な維持管理に努め、利用者満足度の向上に努めた。また、体育施設の老朽化に伴い施設の統廃合を含めた整備の検討が必要である。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費	決算書
大事業	151	国体推進事業						P. 221		教育委員会事務局
中事業	01	国体推進事業						国体推進課		所管 部局
予算額	当初			決算額		不 用 額				
前年度		27,839千円		27,490千円		349千円				
主な 特定 財源		10,344千円		9,869千円		475千円				
予算流用(増減)額				△2,277千円		予備費充用額		0千円		

【事業の目的】

平成30年開催の福井しあわせ元気国体に向け、機運醸成を図ると共に平成29年開催のブレ大会、平成30年開催の本大会が円滑に運営できるよう具体的な計画を策定するため、実行委員会の企画を基に庁内推進会議を開き実施本部の設置に向けた準備を行う。

【事業の概要】

- ◆国体推進事業
  - 賃金 (臨時職員賃金 2人) 4,401千円
  - 需用費 (消耗品費) 19千円
  - 役務費 (通信運搬費) 169千円
  - 委託料 (コピー機保守点検委託料) 486千円
  - 使用材料及び買付料 (パソコン買付料) 498千円
  - 備品購入費 (事務用パソコン購入) 1,217千円
  - 負担金 20,700千円

福井しあわせ元気国体坂井市実行委員会負担金

総務費(委員会費、事務局費)

坂井市準備委員会、坂井市実行委員会、各種専門委員会の開催費用

開催準備費(先遣地等調査費、広報啓発費、事業費)

岩手国体、愛媛リハーサル大会視察研修

広報啓発用の看板設置、ホームページの開設、啓発グッズの作成購入

市民運動となる花いっぱい運動のリハーサル

ブレ大会・本大会の会場設計委託料

【事業の成果と改善点等】

福井しあわせ元気国体坂井市実行委員会の企画内容を基に坂井市庁内に推進本部を設け実施本部の基盤となる競技役員等の動員計画、ボランティアの募集などを行った。また、市民に対する機運醸成を図るためホームページやフェイスブック等での情報配信、各地区の事業、イベントに向き啓発グッズの配布など広報啓発で盛り上げた。

予算	款	項	目	03 体育施設費	決算書
大事業	001	06 保健体育費	03 体育施設費	1,958 千円	P. 223
中事業	01	01 体育施設管理事業		1,652 千円	教育委員会事務局 所管 国体推進課 部局
予算額	当初	決算額	不用額		
前年度	14,806 千円	12,848 千円	1,958 千円		
主な 特定 財源	雑入 (三國運動公園施設指定管理者納付金) 雑入 (自動販売機使用料)	22,256 千円	10,161 千円 35 千円 千円		
予算流用(増減)額		0 千円	予備費充用額	0 千円	

【事業の目的】  
三國運動公園健康管理センターの維持管理と改修工事後のオープンに向けた準備事業を行う。

- 【事業の概要】  
◆三國健康管理センター管理運営事業
- 需用費
    - 消耗品費 44千円
    - 燃料費 421千円
    - 光熱水費 11,309千円
    - 修繕料 159千円
  - 役務費
    - 手数料 5千円
    - 火災保険料 20千円
  - 委託料 (清掃業務委託) 870千円
  - 使用料及び賃借料 (さかいCATV使用料・NHK受信料) 20千円

【事業の成果と改善点等】  
各体育施設について、適時修繕を行うなど適正な維持管理に努め、利用者満足度の向上に努めた。三國運動公園内にある健康管理センターの改修工事を実施した。また、他の体育施設の老朽化に伴い施設の整備の検討が必要である。

予算	款	項	目	05 社会教育費	08 文化振興費
大事業	001	01 文化振興事業		1,311 千円	決算書 P. 209
中事業	01	01 文化振興事業		2,338 千円	教育委員会事務局 所管 文化課 部局
予算額	当初	決算額	不用額		
前年度	1,375 千円	1,311 千円	64 千円		
主な 特定 財源	使用料 春江陶芸工房使用料	3,368 千円	1,030 千円		
予算流用(増減)額		160 千円	予備費充用額	0 千円	

【事業の目的】  
全国大会に出場する市民に対し、大会での活躍を激励するとともに激励金を支給し、本市の文化芸術の向上を図る。また、市民が主体となって活動する「坂井市文化未来会議」を開催し、幅広く市民の意見を求め、市の文化施策推進を図る。

- 【事業の概要】  
○報償費
  - 全国大会出場激励金 180千円
  - 協力者謝礼 (視察研修) 8千円
  - 特別旅費 178千円
  - 792千円
- 旅費 3千円
- 需用費
  - 消耗品費 (事務用品) 4千円
  - 食糧費 (会議用お茶) 598千円
  - 印刷製本費 187千円
  - 光熱水費 (春江陶芸工房、電気料、上下水道料) 7千円
  - 春江陶芸工房火災保険料 119千円
- 役務費 105千円
- 使用料及び賃借料
  - 車両借上料 3千円
  - 有料道路通行料 11千円
  - 入場料
- 負担金 会費負担金 27千円

【事業の成果と改善点等】  
本年は、36名の全国大会出場者に激励金を贈り、大会での活躍を激励した。坂井市文化未来会議では、京都府舞鶴市及び小浜市の視察を実施し、歴史的遺産を活用した地域活性化策や保存への取り組みについて研修した。(会議3回・研修1回)  
視察研修：10月13日実施 京都府・舞鶴市赤れんがパーク他、小浜西組重伝建地区他

【事業の実績等】

指標名	平成28年度	平成27年度
全国大会出場者数	36人	30人



予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費	
大事業	001	文化振興事業				決算書		P. 211		
中事業	06	文化団体補助事業				所管 部局		教育委員会事務局 文化課		
予算額	当初	決算額		不用額						
前年度	29,863千円	29,863千円		0千円						
主な 特定 財源	繰入金 26,349千円 まちづくり整備基金繰入金 (市制10周年記念・三国ポータル還元事業)	21,989千円		4,360千円						
予算流用(増減)額	0千円		予備費充用額		0千円					

【事業の目的】  
地域性豊かな伝統文化の継承と文化活動の振興を図ることを目的に、(公財)丸岡文化財団及び坂井市文化協会の実施する文化活動事業を支援する。

【事業の概要】  
○補助金 29,863千円  
丸岡文化財団運営補助金 27,263千円  
坂井市文化協会事業補助金 2,600千円

【事業の成果と改善点等】  
丸岡文化財団は、今年度も一筆啓上賞、梨一賞など文学賞によるまちづくり事業とともに、2年ぶりに「まるおか子供歌舞伎」を開催し、今後も地域の特色を生かした文化の発信や伝統芸能の継承を図っていく。坂井市文化協会は、総合美術展や子ども文化祭、郷土芸能祭を開催し、市の文化振興に大いに貢献している。今後、若年層の取り込みや次世代の育成・継承に努めていく。

【事業の実績等】

指標名	平成28年度	平成27年度
文化協会員数	2,588人	2,609人
文化協会活動事業数	81事業	88事業
一筆啓上賞応募数	44,348通	27,657通
梨一賞応募数	1,586句	1,697句

かまぼこ板の絵とのコラボ展 延べ44日間開催  
【場所】西武福井店・エンゼルランド・福井大学医学部付属病院】

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費	
大事業	001	文化振興事業				決算書		P. 211		
中事業	11	文化活動支援事業				所管 部局		教育委員会事務局 文化課		
予算額	当初	決算額		不用額						
前年度	39,200千円	39,198千円		2千円						
主な 特定 財源	繰入金 38,200千円 まちづくり整備基金繰入金 (市制10周年記念・三国ポータル還元事業)	38,196千円		4千円						
予算流用(増減)額	0千円		予備費充用額		0千円					

【事業の目的】  
優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会や発表する場を提供することにより、地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進する。

【事業の概要】  
○委託料 39,198千円  
文化祭業務委託料 (坂井市民文化祭実行委員会) 5,498千円  
公演業務委託料 (公財)坂井市文化振興事業団:26事業) 32,000千円  
市民文化創造企画支援事業委託料 (公財)坂井市文化振興事業団) 1,200千円  
講演会業務委託料 (坂井市文化協会) 500千円

【事業の成果と改善点等】  
公演事業では、音楽、古典芸能、演劇など様々なジャンルの事業を開催するなかで、地元出身者による音楽コンクールや市民参加・育成型公演を実施し、文化ホールに親しんでもらうとともに若手音楽家の育成につなげる事業に努めている。文化祭事業は実行委員会に委託し、三国高校書道部と吹奏楽部のコラボによる書道パフォーマンスをはじめ、大人から子どもまで幅広い層より日頃の活動成果の発表を求めた。今後も、市民の文化意識の向上を目指すとともに、総合文化祭への移行についても検討していく。

【事業の実績等】

指標名	平成28年度	平成27年度
公演事業入場率 (入場者数/設定席数)	66.5%	78.4%
文化祭来場者数	12,098人	12,473人

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	08 文化振興費
大事業	001	文化振興事業			決算書 P. 211
中事業	21	一筆啓上手紙資料館管理運営事業			所管 部局 教育委員会事務局 文化課
予算額	当初	決算額	不用額		
	23,826千円	21,709千円	2,117千円		
前年度	28,979千円	26,222千円	2,757千円		
主な 特定 財源	一筆啓上日本一短い手紙の館入館料				
予算流用(増減)額	141千円		予備費充用額	0千円	

【事業の目的】  
「一筆啓上賞」の作品や「かまぼこ板の絵」とのコラボ作品の展示、手紙にまつわる企画等を行う（公財）丸岡文化財団は「手紙の館」を運営し、地域独自の文化振興及び市民交流やにぎわいの創出、丸岡城観光の充実を図る。

- 【事業の概要】
- 報告費 25千円
  - 報償費 155千円
  - 役員費 21,389千円
  - 委託料 140千円
  - 工事請負費
- 運営審議会委員謝礼  
手紙の館火災保険料  
事業運営委託料（公財）丸岡文化財団  
施設改修工事費

【事業の成果と改善点等】  
（公財）丸岡文化財団に「手紙の館」の運営を委託し、一筆啓上賞の作品展示や手紙をテーマにした企画展等を実施した。また、施設の運営状況に対して運営審議会での検討を行い、丸岡城と連携を図りながら入館者増につなげるよう努めていく。

【事業の実績等】

指標名	平成28年度	平成27年度（開館～3月）
手紙の館入館者	21,394人	12,433人

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	08 文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業			決算書 P. 211
中事業	02	文化の森・文化未来館管理運営事業			所管 部局 教育委員会事務局 文化課
予算額	当初	決算額	不用額		
	121,253千円	121,098千円	155千円		
前年度	123,094千円	119,616千円	3,478千円		
主な 特定 財源					
予算流用(増減)額	△397千円		予備費充用額	0千円	

【事業の目的】  
文化施設の適切な維持管理を行うとともに、市民の文化活動の振興と、文化的資質の向上を図る。

- 【事業の概要】
- ◆ 文化の森・文化未来館管理運営事業 本庁 120,974千円
    - 需用費 2,969千円
      - 施設等修繕料 59千円
      - みくに文化未来館 看板修繕 318千円
      - みくに文化未来館 ホワイエガラス修繕 2,592千円
    - 役務費 205千円
    - 委託料 107,500千円
      - ハートピア春江・みくに文化未来館火災保険料 107,500千円
  - 坂井市文化施設指定管理者委託料  
（指定管理者：公益財団法人 坂井市文化振興事業団）
    - 賃借料及び賃借料 文化の森敷地借上料(18,875m) 3,820千円
    - 工事請負費 6,480千円
  - ハートピア春江大ホール音響設備改修工事 124千円
  - ◆ 工ネ対策事業 本庁
    - 使用料及び賃借料 テマンド監視システム使用料 124千円

【事業の成果と改善点等】  
ハートピア春江、みくに文化未来館は共に施設が連年であり、今年度はハートピア春江の大ホール音響設備の更新などを行った。29年度には、みくに文化未来館の文化ホール機能が（仮称）みくに市民センターへ移転するが、今後も施設の適正な維持管理を行い、市民の文化芸術活動の拠点として、それぞれの特性を活かしながら、市民の文化の向上を目指した運営を推進する。

【事業の実績等】

指標名	平成28年度	平成27年度
ハートピア春江入館者	113,573人	111,126人
みくに文化未来館入館者	146,597人	67,435人

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	08 文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業			決算書 P. 211 教育委員会事務局 みくに龍翔館
中事業	21	みくに龍翔館管理運営事業			所管 部局 みくに龍翔館
予算額	当初	補4号	決算額	不用額	
	46,163千円		43,750千円	2,413千円	
前年度	25,980千円		22,804千円	3,176千円	
主な 特定 財源	使用料 諸収入 雑入(町誌等頒布代他) 繰入金	みくに龍翔館入館料他 雑入(町誌等頒布代他) まちづくり整備基金繰入金		2,560千円 366千円 60千円	
予算流用(増減)額		0千円	予備費充用額	0千円	
【事業の目的】 坂井市の歴史についての関心を高め、健全な教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、歴史的文化遺産を市民共有の財産として適正に収集、保管する。					
【事業の概要】					
◆みくに龍翔館管理運営事業 本庁 42,557千円					
○賃金 6,469千円					
○報償費 651千円					
○需用費 7,495千円					
消耗品費(事務用消耗品等) 449千円					
燃料費(重油・ガソリン・L.P.ガス) 2,187千円					
食糧費(来客用膳) 13千円					
印刷製本費(パンフレット・資料等印刷) 431千円					
光熱水費(電気・水道料) 3,857千円					
修繕料(施設等修繕・公用車修繕) 558千円					
○役務費 682千円					
通信運搬費(郵便料・電話料) 297千円					
手数料(公用車草捨て手数料・入館者斡旋手数料等) 109千円					
保険料(火災、自動車、展示・収蔵資料損害保険料等) 276千円					
委託料(エレベーター・空調保守・警備、炊爨等) 7,272千円					
エレベーター・空調保守点検、警備ほか 7,078千円					
炊爨委託料 194千円					
○使用料及び賃借料(事務機器借上料・山車借上料等) 374千円					
○工事請負費(エレベーター改修工事) 18,684千円					
○備品購入費(施設用備品・展示用備品・図書購入) 907千円					
○負担金(県博物館協会等負担金ほか) 10千円					
○公課費(公用車重量税) 13千円					
【次頁へ】...					

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	08 文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業			決算書 P. 211 教育委員会事務局 みくに龍翔館
中事業	21	みくに龍翔館管理運営事業			所管 部局 みくに龍翔館
…【前頁より】					
◆みくに龍翔館展示事業 本庁 1,193千円					
○報償費 466千円					
○旅費 26千円					
○需用費 408千円					
・消耗品費(大会・行事用消耗品費) 59千円					
・印刷製本費(ポスター・パンフレット等印刷) 349千円					
○役務費(運搬費、展示資料損害保険料) 293千円					
【事業の成果と改善点等】					
施設の老朽化への対応と坂井市の総合博物館づくりを進めるため、リニューアル検討委員会において基本構想をまとめた。また、エレベーターの改修工事を行った。					
坂井市制10周年記念にちなみ、坂井市に至るまでの旧町村で作成された行政資料を収集・調査し、特別展「坂井市への道」を開催し、資料の活用を図った。					
市内図書館から古書・古文書の移管や、商家文書(橋浦)約500点及び本多敏子家文書150点を専門家とともに整理・目録化を行う等、坂井市の資料収集・保存に努めた。					
【事業の実績等】					
○郷土史研究講座					
第1講 講題「日本文化の源流—シルクロード・漢字・仏教—」 参加者87人					
講師 森安孝夫氏 6月4日(土)					
第2講 講題「旧町村は無形の文化財—坂井市2か町17か村から考える—」 参加者54人					
講師 小谷正典氏 9月17日(土)					
○企画展 「坂井市制10周年記念 こどもが描くふるさと坂井絵画展」 7月16日(土)～8月16日(火) 入館者数921人					
○特別展 「坂井市制10周年記念 坂井市への道」 10月29日(土)～11月27日(日) 入館者数1,380人					
○資料発行					
『内田環家文書目録(補遺)』 8月1日発行 12頁500冊					
特別展『坂井市への道』パンフレット 10月29日発行 8頁1,000冊					
『みくに龍翔館研究紀要 第11号』 2月28日発行 58頁230冊					
○みくに龍翔館リニューアル検討委員会(9名) 6月12日(日)、11月21日(月)、2月2日(木)開催					
○その他共催事業					
「エッシャー&杉原厚吉錯覚トリックマジック展」及びワークショップ 12月15日(木)～1月31日(火) 入館者数1,000人					
「温故知新!歴史で繋がる三國・芦原・金津」 3月19日(土) 参加者61名					

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業			決算書 P. 213				
中事業	26	ONOXモリアル管理運営事業			所管 部局	教育委員会事務局 みくに龍翔館			
予算額	当初				決算額	不 用 額			
前年度		3,413千円		3,288千円		125千円		152千円	
主な 特定 財源		1,740千円		1,588千円		千円		千円	
予算流用(増減)額				0千円		予備費充用額		0千円	

【事業の目的】  
故小野忠弘氏の住宅業アトリエの保存・活用を図るとともに、市民の現代美術に関する感性と創作意欲の向上に寄与する。

【事業の概要】

- 報償費（高校生現代アートビエンナーレ、ふるさと坂井絵画展） 950千円  
指導致謝礼 427千円
- 参加賞、賞品、賞金 523千円
- 旅費（費用弁償） 26千円
- 需用費 678千円
- 消耗品（施設管理消耗品・大倉行事務用品他） 54千円
- 食糧費（ビエンナーレ審査時等給） 50千円
- 印刷製本費（賞状・ポスター・パンフレット印刷） 236千円
- 光熱水費（電気料・水道料） 338千円
- 役員費 83千円
- 通信運搬料（電話料） 71千円
- 火災保険料 12千円
- 委託料 1,551千円
- 施設管理委託料（警備保障、清掃、樹木管理） 1,019千円
- イベント事業委託料 532千円

【事業の成果と改善点等】  
高校生現代アートビエンナーレは実行委員会を組織し、事業開催前に4回、開催後に1回実施。会場も3ヶ所から5ヶ所とし、事業の充実を図ることができた。  
現代アートの企画・運営団体の組織化・育成については、現代美術に精通する人材不足などで困難となっている。ONOXモリアル事業の充実を図るため、検討が必要である。

【事業の実績等】

- 第5回北陸三県高校生現代アートビエンナーレ  
出品数：15校38点、会場：三國神社・丸岡城等市内5ヶ所  
展示：8月11日（水・審査日）～9月11日（日）  
第10回「こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展”  
出品数：2,502点、会場 みくに龍翔館  
展示：入賞作品200点、9月25日（日）～10月16日（日）

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	001	文化財保護審議会運営事業			決算書 P. 213				
中事業	01	文化財保護審議会運営事業			所管 部局	教育委員会事務局 文化課			
予算額	当初				決算額	不 用 額			
前年度		235千円		187千円		48千円		46千円	
主な 特定 財源		235千円		189千円		千円		千円	
予算流用(増減)額				1千円		予備費充用額		0千円	

【事業の目的】  
新たな文化財の指定や解除に関する諮問や、市の文化財保護施策に関する討議などを通して、文化財の保護を図る。

【事業の概要】

- 報酬 文化財保護審議会委員報酬（8名） 184千円
- 旅費 文化財保護審議会委員費用弁償 1千円
- 需用費 食糧費（文化財保護審議会お茶代） 2千円

【事業の成果と改善点等】  
指定・登録文化財について候補の審議を引き続き行うほか、年間計画等についても助言をもちます。

【事業の実績等】

委員数	9名
会議開催数	3回 (現地調査1回含む)

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	09 文化財保護費	決算書
大事業	051 文化財保存事業				09 文化財保護費	決算書 P. 215
中事業	01 文化財保存管理事業				所管 部局	教育委員会事務局 文化課
予算額	当初	決算額	不用額			
前年度	4,901千円	4,252千円	649千円			
主な	21,438千円	16,894千円	4,544千円			
特定	国庫重要文化財保存整備補助金		117千円			
財源	物品売払収入他		62千円			
繰入金	まちづくり整備基金繰入金		486千円			
予算	追加(増減)額	△36千円	予備費活用額	0千円		
【事業の目的】						
文化財の保存管理に必要な措置を講じ、貴重な文化財を後世に伝えるため、広く市民への公開や活用を通して、文化財保護意識の啓発を行う。						
【事業の概要】						
○報償費	市内指定文化財天然記念物調査協力謝礼	20千円	505千円			
	文化財管理奨励金	485千円				
○旅費	費用弁償、特別旅費		38千円			
○需用費			486千円			
	消耗品費(子ども向け体験学習用消耗品)	200千円				
	食糧費(子ども向け体験学習等材料費)	16千円				
	光熱水費(出世山古墳公園等電気料・上下水道料)	85千円				
	修繕料(出世山古墳公園漏水修繕等)	185千円				
○役務費			31千円			
	力マシカ処理手数料	14千円				
	丸岡城関連施設・出世山古墳公園火災保険料	17千円				
○委託料	文化財管理委託料(古墳公園等清掃、草刈など)		1,507千円			
○使用料及び賃借料			213千円			
	出世山古墳公園、銅鑄出土記念碑敷地借上料	146千円				
	画像編集用パソコンリース賃借料	67千円				
○備品購入費	教材用備品購入費(鑄造体験用シリコン型)		400千円			
○負担金	全史協北信越地区協議会負担金外3件		75千円			
○補助金			997千円			
	市指定無形文化財保存活動事業費補助金	680千円				
	指定文化財保存事業費補助金	317千円				

【次頁へ】...

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	09 文化財保護費	決算書
大事業	051 文化財保存事業				09 文化財保護費	決算書 P. 215
中事業	01 文化財保存管理事業				所管 部局	教育委員会事務局 文化課
...【前頁より】						
【事業の成果と改善点等】						
県指定の膳鷹塚のフジの強剪定ならびに市指定の火の太鼓の用具修理を行い、文化財の維持・継承に努めた。今後文化財保存管理計画を計画的に行う。						
【事業の実績等】						
文化財補助件数						
指標名	平成28年度	平成27年度				
無形文化財活動補助件数	8件	8件				
指定文化財保存事業補助件数	3件	5件				
文化財管理奨励金件数	37件	37件				

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決算書 P. 215	
中事業	11	埋蔵文化財発掘調査事業						所管 部局 教育委員会事務局 文化課	
予算額	当初	決算額		不用額					
前年度		4,408千円		3,973千円					435千円
主な 特定 財源		8,061千円		5,673千円					2,388千円
		埋蔵文化財調査費補助金						1,000千円	
		雑入(長崎遺跡発掘調査委託料)						157千円	
		予算追加(増減)額		94千円		予備費充用額		0千円	
【上記決算額内訳】									
当年度	分	予算額	3,536千円	決算額	3,102千円				
前年度	繰越分	繰越分予算額	872千円	繰越分決算額	871千円				

【事業の目的】  
丸岡城跡の遺構確認の調査を行い保存活用を図る。また開発事業による埋蔵文化財の破壊や滅失を防止、埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るとともに、調査成果を広く公開し、文化財保護意識の向上と啓発を図る。

【事業の概要】

○賃金	丸岡城発掘調査作業員賃金	1,083千円
○旅費	特別旅費	97千円
○需用費	消耗品費(整理作業用具)	144千円
	印刷製本費(写真現像焼付代)	14千円
○委託料	六呂瀬山古墳群アクセス園路設計委託料 (株)空間文化開発機構	691千円
	試掘調査掘削委託料ほか	929千円
	登記業務委託料	67千円
○使用料及び賃借料	発掘調査機材借上料	144千円
○公有財産購入費	六呂瀬山古墳群アクセス園路用地購入	776千円
○補償金	六呂瀬山古墳群アクセス園路用地取得補償費	28千円

【次頁へ】...

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決算書 P. 215	
中事業	11	埋蔵文化財発掘調査事業						所管 部局 教育委員会事務局 文化課	

…(前頁より)

【事業の実績等】

埋蔵文化財試掘調査等実施状況

指標名	平成28年度	平成27年度	備考
発掘届受付件数	84件	64件	
試掘調査実施件数	17件	14件	
調査面積	654㎡	570㎡	
内容確認遺跡数	64件	61件	試掘件数+工事立会い件数
発掘調査	2件	1件	丸岡城・長崎遺跡

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	09 文化財保護費	決算書
大事業	051 文化財保存事業					決算書 P. 217
中事業	21 丸岡城関連施設管理運営事業					所管 部局 教育委員会事務局 文化課
予算額	当初	決算額	不用額			
前年度	10,077千円	10,057千円	20千円			
主な 特定 財源	0千円	0千円	0千円			
予算流用(増減)額		37千円	予備費充用額	0千円		
【事業の目的】 丸岡城関連施設を指定管理者に委託し、丸岡城関連施設の円滑かつ現場に即した適切な管理を行い、丸岡城観光の充実と、地域の文化振興を図る。						
【事業の概要】						
○ 役務費						
丸岡城関連施設火災保険料 118千円						
丸岡歴史民俗資料館寄託資料損害保険料 90千円						
丸岡城周辺樹木剪定・伐採業務委託料 28千円						
○ 委託料						
丸岡城関連施設指定管理委託料 7,742千円						
(指定管理者：一般財団法人 坂井市公共施設等管理公社) 9,168千円						
丸岡城周辺樹木剪定・伐採業務委託料 1,426千円						
○ 使用料及び賃借料						
丸岡城周辺土地借上料 676千円						
○ 工事請負費						
手紙の館前駐車場看板設置工事 95千円						
【事業の成果と改善点】						
丸岡城関連施設の指定管理者である「一般財団法人坂井市公共施設等管理公社」の、一筆啓上日本一短い手紙の館を運営する「公益財団法人丸岡文化財団」への合併が進んだ。今後は、丸岡城周辺の一体的な管理運営が可能となり、観光面・文化面での賑わい創出を図る。						
【事業の実績等】						
指標名		平成28年度	平成27年度			
丸岡城有料入城者		150,749人	149,570人			

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	09 文化財保護費	決算書
大事業	051 文化財保存管理事業					決算書 P. 215
中事業	16 丸岡城国宝化推進事業					所管 部局 教育委員会事務局 丸岡城国宝化推進室
予算額	当初	補1号	補2号	決算額	不用額	
前年度	15,162千円			14,283千円	879千円	
主な 特定 財源	6,641千円			4,542千円	2,099千円	
予算流用(増減)額				丸岡城天守学術調査事業補助金	3,850千円	
【事業の目的】 丸岡城の国宝化に向けて、丸岡城の歴史的価値を明らかにするための調査研究を行う。また収集した資料等を市民に公開し、市民の丸岡城に対する認識を高めていく。						
【事業の概要】						
○ 賃金 (臨時職員賃金) 4,149千円						
○ 報償費						
委員謝礼 390千円						
専門調査協力員報償費 525千円						
○ 旅費						
費用弁償 (委員交通費、現地調査旅費等) 532千円						
特別旅費 (出張旅費) 197千円						
○ 需用費						
消耗品費 (事務用消耗品) 131千円						
燃料費 (LPガス、灯油代) 104千円						
食糧費 (会議お茶) 6千円						
印刷製本費 (リーフレット) 58千円						
光熱水費 (電気、水道料) 429千円						
○ 役務費						
通信運搬費 (電話料) 119千円						
火災保険料 2千円						
○ 委託料						
カラー複合機保守点検委託料 209千円						
丸岡城天守調査研究業務委託料 1,131千円						
丸岡城建築部材等放射性炭素年代測定委託料 3,002千円						
城閣運賃部材等放射性炭素年代測定委託料 1,275千円						
天守3次元複合構造モデル作成業務委託料 691千円						

予算款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	09 文化財保護費
大事業	051 文化財保存管理事業				決算書 P. 215
中事業	16 丸岡城国宝化推進事業				所管 部局 丸岡城国宝化推進室
…【前頁より】					
	○使用料及び賃借料				273千円
	コピー機リース料				188千円
	画像処理用パソコン利用ライセンス等				85千円
	○備品購入費 (デジタルカメラ)				60千円
	○補助金 (丸岡城天守を国宝にする市民の会補助金)				1,000千円
【事業の成果と改善点等】 丸岡城調査研究委員会を設置し2回開催した。C14放射性炭素年代測定法による調査では、16世紀後半を含む時期に採られた木材が使用されているという測定データが得られるなど、新たな発見があった。今後も、建築部材の詳細な調査や、古地図、古文書等の調査を行い、丸岡城の学術的価値を明らかにしていく。					

予算款	13 諸支出金	項	02 基金費	目	09 丸岡城周辺整備基金費
大事業	001 丸岡城周辺整備基金				決算書 P. 229
中事業	01 丸岡城周辺整備基金				所管 部局 教育委員会事務局 文化課
予算額	当初 補2号		決算額		不用額
前年度	8,143千円		8,058千円		85千円
主な財産収入	142千円		119千円		23千円
特定財源	城周辺整備基金利子				58千円
予算流用(増減額)			0千円	予備費充用額	0千円
【事業の目的】 丸岡城周辺の整備及び丸岡城に関する資料の購入に必要な財源に充てるため、丸岡城周辺整備基金を設置する。					
【事業の概要】 丸岡城周辺整備基金に係る運用益等の積立を行う。 ○積立金 城周辺整備基金積立金 8,058千円 城周辺整備基金積立金(預金利息) 8,000千円 58千円					
平成27年度末 現在高 ①		平成28年度中増減額		平成28年度末 現在高 ①-②+③	
190,124千円		取崩額 ②	積立額 ③	198,182千円	
		0千円	8,058千円		

【事業の成果と改善点】  
丸岡城入城料金に余剰がためたため8,000千円を基金に積み立て、及び利子分を積み立て、適切に基金管理を行った。



予算款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 12 図書館費
大事業	001 図書館管理運営事業		決算書 P. 217
中事業	01 図書館管理運営事業		所管 部局 教育局 図書館
予算額	当初	決算額	不 用 額
	99,376 千円	97,457 千円	1,919 千円
前年度	110,338 千円	108,847 千円	1,491 千円
主な	雑収入	雑入(図書カード再交付・図書弁償金他)	283 千円
特定	雑収入	雑入(廃棄図書売却代)	62 千円
財源	繰入金	まちづくり整備基金繰入金	16 千円
予算	流用(増減)額	0 千円	予備費充用額
			0 千円
【事業の目的】 地域の情報拠点施設として4つの公共図書館を運営し、読書普及や情報サービスを提供することにより、地域や住民に役立つ図書館事業を推進する。			
【事業の概要】			
○報酬(図書館協議会委員 9名)			90 千円
○賃金(臨時職員 19名)			42,212 千円
○報償費(講師謝礼、協力者謝礼)			745 千円
○旅費			3 千円
○需用費			15,173 千円
	消耗品費		8,177 千円
	光熱水費		4,392 千円
	修繕料		2,604 千円
○役務費			1,031 千円
	通信運搬費		781 千円
	自動車保険料		153 千円
	手数料他		97 千円
○委託料			8,913 千円
	図書館システム保守点検料		3,886 千円
	清掃業務委託		2,543 千円
	整備保障他		2,484 千円
○使用料及び賃借料			5,037 千円
	図書館管理用Wi-Fi使用料		1,198 千円
	図書カード使用料		2,581 千円
	通信料他		1,258 千円
○備品購入費			24,164 千円
	図書館用図書購入		23,660 千円
	施設用備品他		504 千円
○負担金(県図書館協会費、日本図書館協会費)			39 千円
○公賦費(自動車重量税)			50 千円
			【次頁へ】...

予算款	10 教育費	項 05 社会教育費	目 12 図書館費
大事業	001 図書館管理運営事業		決算書 P. 217
中事業	01 図書館管理運営事業		所管 部局 教育局 図書館
...【前頁より】			
【利用状況】 4館合計			
	項目	平成28年度	平成27年度
	来館者数(人)	492,564	494,258
	貸出人数(人)	208,169	212,761
	貸出冊数(冊)	835,966	839,430
【子どもの読書活動推進事業】			
	項目	平成28年度	平成27年度
	子どもの読書活動推進事業講演会(人)	あさのあつこ氏講演会 250	近藤信子氏講演会 70
	ブックスタート(人)	626	時田史郎氏講演会 59
	おはなし会(人)	3,349	627
			4,438
【事業の成果と改善点等】 市民が親しみを帯びてくる図書館をめざし、くらしや趣味などに役立つ情報や資料の収集、整備、保存に努めた。また、市内4館のネットワークや図書館間相互賞借を活用し、必要なら、必要な情報や資料の提供を行った。さらに、多くの図書館行事を通じ利用者の増加を図った。 子どもの読書活動推進事業においては、あさのあつこ氏を迎え講演会を開催し、中高生の読書活動推進に効果があった。引き続きブックスタート事業を行い、乳児の保護者やその家族から好評を得ている。またおはなし会等を通して、子どもたちへのさらなる読書活動推進の充実をめざした。 施設・設備面においては、各館において必要に応じ修繕や整備を行い、快適な施設の維持管理に努めた。			

予算	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	12 図書館費
大事業	051	記念文庫等管理運営事業				決算書 P. 219 教育委員会事務局 図書館
中事業	01	記念文庫等管理運営事業				所管 部局 図書館
予算額	当初		決算額	不用額		
前年度		1,441 千円		1,303 千円		138 千円
主な 特定 財源		1,174 千円		1,106 千円		68 千円
予算 追加 減額				0 千円	予備費 充用額	0 千円

【事業の目的】  
中野重治記念文庫及び小栗田淳記念文庫の蔵書、遺品の維持管理・収集を行うとともに、記念講演会や行事を開催して、郷土の誇れる文学や歴史を次代に継承する。

【事業の概要】

- 報償費(講師謝礼) 108 千円
- 需用費 477 千円
- 役務費 (トイレ汲み取り料) 448 千円
- 委託料(生家跡樹木剪定業務等委託料) 29 千円
- 使用料及び借借料 3 千円
- 備品購入費 (防犯カメラリース料) 341 千円
- 負担金 (中野重治の会負担金) 187 千円
- 備品購入費 (防犯カメラリース料) 182 千円
- 負担金 (中野重治の会負担金) 5 千円

【行事の開催】

- ・くちなし忌式典、詩の朗読他 8月20日(土) 中野重治生家跡 参加者名 75名
- 記念講演① 演題「中野重治と濱口國雄」 講師 井崎外枝子氏(詩と詩論「笛」同人)
- ② 演題「『歌のわかれ』に描かれた金沢と描かれなかつた金沢」 講師 小林弘子氏(中野重治を語る会) 場所 たかむく古城ホール 参加者数 177名
- ・小栗田淳記念文庫講演会 2月4日(土) 演題「越前の恐竜時代」 講師 福井県立恐竜博物館 特別館長 東 洋一氏 場所 たかむく古城ホール 参加者数 112名

【次頁へ】...

予算	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	12 図書館費
大事業	051	記念文庫等管理運営事業				決算書 P. 219 教育委員会事務局 図書館
中事業	01	記念文庫等管理運営事業				所管 部局 図書館

...【前頁より】

【見学者数】

- 中野重治記念文庫 年間 558名
- 小栗田淳記念文庫 年間 295名
- 今川節の部屋 年間 569名

【事業の成果と改善点等】

中野重治記念文庫の貴重な生原稿等の資料の保存や整理を行った。くちなし忌及び記念文庫講演会等、文庫関係にちなんだ講演会を実施し、市民に郷土の偉人を顕彰した。中野重治記念文庫や今川節の部屋を一般開放し、誰もが気軽に記念文庫の見学ができるようにした。また、資料の保管について安全を図りながら、遺品や資料の閲覧、研究活動の支援に努めた。  
福井県ふるさと文学館での『中野重治展』には中野重治記念文庫の資料を、県立図書館には今川節の資料をそれぞれ貸出し、広く県民に周知した。

平成28年度

坂井市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検、評価に関する意見

坂井市社会教育委員 上出嘉代子

1 教育委員会の会議開催等の状況

(2) 坂井市教育委員会委員

委員長以下5名

(3) 教育委員会会議の開催状況

13回(定例12回、臨時1回)の会議において、48件の附議事項を審議され、充分機能を果たしているものと判断できる。

2 教育委員の活動状況

多くの教育関連行事に各教育委員が出席され、市全体の教育行政の指導・推進に関わっている様子がうかがえる。

3 委員会、審議会等の審議状況

年間計画に従い、各委員会、協議会などが開催され、適切な運営がなされている。特に今年度は30年度開催の福井国体に向けての実行委員会も多数開催され、各分野における取り組みが進められている。

4 教育委員会関係の許認可の状況

現在までの許認可数 合計123件 (昨年121件)

今年度に入り新たに増えた部分がかかるとよい。

《 事業別施策の成果報告書 》

○教育委員会運営事業

運営事業では13回の会議が開催され、円滑な委員会が運営された。

表彰事業では、功績、功労、奨励合計33件の表彰が行われた。

○教育委員会事務局事業

教育行政全般に関する運営調整を図り、教育振興会への支援を通し、教育振興を促進している。教職員のストレスチェックの実施は時宜を得ていて望ましい。

○小学校管理事業

・小学校管理事業

市内19小学校の管理事業が適正になされていると思われる。今後ともデマンド監視サービスを有効に進めていただきたい。

・小学校施設整備事業

大規模改修工事が計画的に進められている。

○中学校管理事業

・中学校管理事業

市内5中学校の管理事業が適正になされているものと思われる。

・中学校施設整備事業

耐震改修後の屋外環境整備も進み、安全で機能的な活動が可能となり、大いに評価できる。

○キンダーホール管理事業

放課後児童の利用や、地域住民の集会場所として望ましい使用状況である。

○教育相談事業

適応指導教室より復帰者も7割に近く、スクールソーシャルワーカー及び指導員の方々の努力がうかがえる。今後とも児童、生徒のみならず保護者も含めた支援体制の継続をお願いしたい。

○学級運営支援事業

年々学級サポーターの需要は増しており、この分野の充実は大いに評価できる。

○学校保健総合支援事業

市をあげてのう歯の予防及び治療への取り組みで、治療率が8割を越え、取り組みを大いに評価できる。

○魅力ある学校づくり調査研究事業

学校行事などの参加を通し、全校あげての一人一人を大切にしたい集団づくり・人間育成への取り組みが感じられた。有意義な事業であり、取り組みが市全体に広がることを期待する。

○小学校教育振興事業

・小学校教育振興事業

教育の根幹となる分野であり、道徳や環境・エネルギー教育も含め充実した内容であると評価できる。英語教育についても、近い将来教科化も言われており、益々の充実を期待したい。

・小学校児童健康管理事業

適正に執行されていると思われる。

・学校生活ボランティア推進事業

教育を下支えする意味のある分野であり、地域との交流を深める意味でも大いに評価できる。

・ふれあい交流事業

豊かな人間性育成の面で、見聞を広めたり、体験・交流することは大切なことであると思う。併せて、郷土への愛着や誇りをもてる子どもに育つことを望む。

・学力充実推進事業

学力トップクラスを誇る県(市)として、日頃からのきめ細かな取り組みが評価できる。結果を生かした指導力の向上が望まれる。

○児童就学援助事業

就学困難な児童の保護者対策が適切にとられている。

○小学校通学支援事業

適切に執行されていると思われる。

○中学校教育振興事業

・中学校教育振興事業

各分野において時代に合った執行がなされ評価できる。特に、キャリア教育支援事業については、生徒の将来に関わる重要な分野であり大いに評価できる。図書

数の充実もこの期の生徒にとってとても望ましい。

・中学校生徒健康管理事業

適切に執行されていると思われる。

・クラブ活動推進事業

部活動、クラブ活動は人格形成上の大切な分野であると考え。その意味でも適切に執行されていると思われる。全国大会出場が増えたのは望ましいが、指導教員などの負担増にならぬよう、外部指導者の導入や、休養日などについての配慮も併せて推進願いたい。

○生徒就学援助事業

就学困難な生徒の保護者対策が適切にとられている。対象生徒数の増加が今後懸念される。

○中学校通学支援事業

適正に執行されていると思われる。

○幼稚園通学支援事業

適正に執行されていると思われる。

○学校給食管理事業

安全・安心な食の提供、及び、食育の推進などに取り組み、大いに評価できる。特に地元と提携した地産地消推進検討委員会の開催は、今後に向けた望ましいあり方である。

・丸岡学校給食管理事業

5校2園が自校方式、3校が委託方式だが、どちらも適切な管理運営がなされていると思われる。

・三国学校給食管理事業

地の利を生かした地元生産者との連携による地場産食材の利用が6割に増えており、取り組みが評価できる。

・春江坂井学校給食管理事業

計11校4000人に近い給食人員をかかえているが、適切な運営管理がなされていると思われる。

○社会教育事業

社会教育委員の諸活動や、社会教育団体への補助事業などが適切に行われている。

○市民運動推進事業

市民運動への意識向上にむけた取り組みが、適切に行われている。

○公民館管理運営事業

コミュニティーセンターとなり、地域の中核としての運営管理が適切になされている。

○国際交流推進事業

派遣・招聘共に、次代を担う青少年にとってとても貴重な体験となる。特に派遣については、選考や研修を通してコミュニケーション能力を高めると共に、ホームステイを通じた異文化体験が、国際的な感覚の醸成に大いに役立つものと思われる。

○青少年健全育成事業

・子ども会育成事業

少子化の中にあり、地域を担う子どもの育成は大切にしたい分野である。青少年のリーダーとなる人材育成の面からも「組織運営部会」の立ち上げは望ましいと思われる。

・成人式事業

8割強の参加があり、実行委員会などの積極的な取り組みが功を奏していると思われる。

・わんぱく少年団事業

計12回の自然体験活動は内容が濃い。参加児童が定員を下回ったのは惜しい結果である。

・青少年育成坂井市民会議事業

的を絞りにくい分野であるが、講演会や「赤ちゃん抱っこ体験学習」などは理解しやすい取り組みである。

・放課後子ども教室推進事業

地域の実情に合わせて、子どもにとって有意義な支援を行っている。

・合宿通学

小学校時代に仲間と寝食を共にする経験はとても意義があると思う。進め方や地域のボランティアなども定着してきており、今後とも坂井市の目玉行事としてぜひ継続させてほしい。

○坂井・延岡ジュニア交流事業

ジュニア部門での交流が、将来的に郷土愛にもつながり、両市の絆を強めることにもつながると思われる。

○心の家庭教育支援事業

子育て中の親を、地域全体で支える基盤として有効に運営されている。

○スポーツ推進委員運営事業

市民のスポーツによる健康づくりが適正に行われている。

○国体推進事業

来年に迫った福井国体に向け、サッカー競技、バレーボール競技会場の改修工事が計画的にすすめられている。

○スポーツ振興事業

各スポーツ大会の開催や、スポーツ振興に関する補助金の交付を通して、市民がスポーツライフを楽しむ支援が適切に行われている。

○体育施設管理事業

体育施設の修繕・改修など適正な維持管理が行われている。

○文化振興事業

各種文化活動への奨励・補助・支援が適切になされており、市民の文化意識の向上につながっている。

○文化施設管理運営事業

市内各文化施設の適正な維持管理が行われており、みくに龍翔館では文化遺産の収集、保管なども計画的に進められている。

○文化財保存事業

文化財保存管理は計画的になされており、埋蔵文化財発掘調査においても適正な保護と啓発活動が行われている。

○文化財保存管理事業

丸岡城の国宝化に向けて調査研究が進められ、学術的に探究されている。今後とも関係機関や専門家との連携を図りながら、年月をかけて地道な取り組みを進め、所期の目的を追求してほしい。資料・情報の公開などを通し、市民運動の高まりにもつなげてほしい。

○図書館管理運営事業

4館とも、子どもも大人も親しめる情報拠点として大きく機能している。利用者の立場に立った情報や資料の提供、魅力的な図書館行事の開催など大いに評価できる。

○記念文庫等管理運営事業

講演会や各行事を通して、郷土の偉人の顕彰と継承に努めている。

以上

## 坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書の確認

坂井市PTA連合会

会長 栗原 泰道

### 1. 平成28年度 坂井市教育委員会の活動状況

- 教育委員は適切な人員で構成されていると評価します。
- 委員会会議の開催状況は、定例及び臨時委員会を年間13回、48件の附議事項を審議し、坂井市教育行政の運用の為に必要な内容であり、適切な委員会開催状況であると評価します。
- 教育委員の活動状況は多くの教育関係行事（各種式典・会議・イベント）に各委員が出席され、その活動内容についても、高く評価します。特に教育長におかれては、行事のほとんど全てに出席され、激務をこなされていることが伺えます。公務員や民間企業でも多忙化が問題視されている今日、業務の分散化や効率化なども検討し、健康にご留意ください。
- 指導主事学校訪問においては、市内のすべての小中学校を1~2回程度訪問し、各学校の様子を察知し、適切な指導を行ったことについて高く評価します。
- 委員会、審議会の審議状況については、多様な内容について協議を行っているとして高く評価します。また、平成30年度に開催される福井国体にむけての多くの項目について協議されていることに関しても、着々と準備が進まれていると理解し高く評価します。
- 教育委員会関係の許認可の状況については、文化財の指定状況を確認しました。今後も各文化財の維持管理の適正化や丸岡城の国宝化に向けて、さらなる市内文化財の充実を期待します。

### 2. 平成28年度 事業別施策の成果報告について

#### 【教育総務課関係】

- 教職員メンタルヘルスの維持向上を目的としたストレスチェックなど行い、教育振興に努めている点を高く評価します。引き続き、様々な教育環境の向上・改善を期待します。
- 小中学校の維持管理については適正に管理されており、さらに省エネを意識した管理をされていることを評価します。

#### 【学校教育課】

- 児童・生徒の不登校や心の悩み、様々な理由による学習・生活支援のためのスクールソーシャルワーカーや学級サポーターの拡充・魅力ある学校づくりに向けた取り組みなど、学校教育環境の充実を図っていると高く評価します。
- 児童・生徒の健康維持管理の為にう歯対策、内科、歯科などの健康維持管理・推進に



取り組んでいる点を高く評価します。最近ではさまざまなウイルスによる健康被害が多発しています。

引き続き、健康管理の取り組みをお願いいたします。

- 英語力向上のためのALTの配置、活字離れ対策や読解力、想像力など能力向上のための図書の実施・司書の配置などの事業を評価します。
- スクールバスなどの通学支援、経済的な理由による就学支援などは、様々な生活環境により子どもたちが十分な教育を受けられなくならないように、ご支援いただいている点、高く評価します。
- クラブ活動推進事業においては、部活動の技術力・競技力による意欲向上につながっているものと評価します。教員の多忙化や指導者不足、施設不足による部活動のあり方に検討が必要となっております。外部指導者のあり方や活動・運営方法などのご検討及び更なる充実を希望します。
- 給食関係の事業について、成長期の大切な時期でありますので、安心して安全かつ子どもたちがおいしく食べることが出来る給食の提供を行っていると感じ、評価します。引き続き食育を大切にしていきたいと思っております。

#### 【生涯学習スポーツ課関係】

- 社会教育団体補助事業に関して、地域社会力の向上や社会教育を通し、青少年の健全育成を目的とした社会教育団体への活動支援に協力していただいていると高く評価します。今以上のボランティア社会の形成に向けて更なる支援をお願いします。
  - 国際交流事業では、ますますの国際化社会へ向けての人材育成に大きく影響している事業と高く評価します。海外への派遣だけでなく来日した生徒と交流できる機会など、多くの機会を与えられているものと評価します。引き続き継続と多くの生徒たちと交流できる機会が増えるよう希望します。
  - 成人式事業に関しては、80%を超える出席率で高く評価できる事業だと思います。市外や県外へ出て行った青年が坂井市に戻り坂井市の発展につながるような内容の成人式であるといいと思います。
  - 青少年育成市民会議では10周年事業である講演や赤ちゃん抱っこ体験による、命の教育など活動内容が少しずつ充実してきているのではないかと思います。赤ちゃん抱っこに関しては、来年度は市内全中学校で開催する予定で検討中と伺っております。是非実現してほしいと思っております。
- また他にも、社会教育団体においては、目まぐるしく変わる時代の変化に対応した教育・育成活動が必要と思われます。活動資金の支援だけでなく、活動内容に対しても指導・助言などや団体間の連携ができるよう、支援していく必要があると思っております。
- 放課後子ども教室、わんぱく少年団事業、合宿通学事業など、地域や坂井市内の施設、自然とのふれあい、様々な体験を通し子どもたちの成長につながると共に、地域との

交流の良さなども感じてもらえる、素晴らしい事業であると評価します。合宿通学は数年に一度しか体験できない事業であり、より多くの児童が体験できるようお願いします。

- 心の家庭教育事業に関して、支援チームとの信頼関係が充実し、訪問を心待ちにしているとの報告を受け評価できる事業であると思います。家庭ということなので、保護者へのアドバイスや交流がさらに増えると良いと思います。
- スポーツ推進委員運営事業、スポーツ大会運営事業においては市民の健康増進とスポーツ振興に大きく貢献していると評価します。参加者はもちろん、スタッフへの配慮や運営の効率化を今後も検討して行ってください。
- 来年度開催の国体関係の事業に関しては、開催に向けて、施設の改修や運営の準備に対する多額の費用が投入されております。大会の成功と国体を機に市民の意識向上や使いやすい施設の充実につながれば良いと思います。

#### 【文化課関係】

- 文化振興・文化活動事業に関しては、様々な文化活動支援の充実に取り組まれていると評価します。一筆啓上などは全国的にも有名になり、坂井市のPRにもつながっております。県外から多くの人を訪れる施設や文化活動を継続して活動・継承・保存していけるような支援を引き続きお願いします。
- 丸岡城に関する事業がいくつかあります。国宝化も含め坂井市市民の地元愛や県外からの来客数の増加などによってますます坂井市が発展していけるような、施設になるよう期待します。

#### 【図書館関係】

- 図書館管理事業に関しては、インターネットの普及による活字離れが進行しているようです。  
28年度利用状況は若干減少しているようですので開館時間や読みやすい図書の実態などにより、より多くの市民に活用できるよう運営方法の検討をお願いします。

各事業に関して、坂井市民の教育・市民生活の向上につながっていると高く評価いたします。